

令和8年5月27日

第1回 市立四日市病院 あり方検討委員会資料

当院の現状、取り巻く環境 【基礎調査報告書サマリー】



目次

I 国及び県の医療政策

- 1 第8次医療計画のポイント
- 2 新たな地域医療構想
- 3 病床機能報告による医療機能・病床機能(定量基準分析)

II 地域の状況

- 1 三重県の状況
- 2 北勢医療圏の状況
- 3 北勢医療圏内の病院の状況
- 4 三泗構想区域の状況

III 当院の状況

- 1 当院の概要
- 2 収益性分析
- 3 コストの適正性分析
- 4 入院患者分析
- 5 外来患者分析
- 6 救急患者分析
- 7 手術件数分析
- 8 職種別職員数のベンチマーク病院分析

基礎調査報告書サマリ

1. 行政の動向

・ 第8次医療計画と2040年を見据えた構想

国および県は現在、2024年度からの「第8次医療計画」を推進しており、新型コロナの教訓を踏まえた新興感染症対策や、人口構造の変化への対応を重点としています。

さらに、2040年頃の超高齢社会を見据えた「新たな地域医療構想」の検討が進められており、「**治す医療**」と「**治し支える医療**」の役割分担の明確化、**急性期医療の集約化・重点化**が方針として掲げられています。

・ 医療従事者の働き方改革とDX

2024年4月から医師の時間外労働上限規制が適用され、**持続可能な医療提供体制の構築が急務**となっています。また、マイナンバーカードの活用や電子カルテ情報の共有化など、医療DXの推進も重要な政策の柱です。

2. 地域の医療需要

・ 人口減少と高齢化の加速

北勢医療圏の人口は減少傾向にあり、**2040年には約75万人に減少**する。一方で、**高齢化率は34.0%まで上昇**すると予測されます。

また、四日市市は北勢医療圏の中でも人口減少及び高齢化の進展が緩やかな地域です。

・ 疾患構造の変化

北勢医療圏の将来の**外来需要は全体として減少傾向**となっています。一方で、**入院需要は2035年まで増加し、以降は減少**に転ずると予測されます。

将来需要として、高血圧性疾患、脳血管疾患、虚血性心疾患などの**循環器・神経系疾患の外来・入院需要が増加**する見込みです。

一方で、少子化の影響により**小児系や周産期系の医療需要は減少**していくと推計されます。

3. 地域の医療提供体制

・ 病床機能の不均衡

三四構想区域では、2040年に向けて**高度急性期(46床過剰)及び急性期(154床過剰)が余剰**となる一方、**地域急性期・回復期および慢性期は不足**すると予測されます。

・ 地域内で医療完結率が高い

北勢医療圏の完結率は88%であり、流出率12%は他の医療圏と比較して低い状況です。特に三四構想区域は、同医療圏では流出率・流入率がいずれも最も低く、**医療の完結性が最も高い区域**となっています。

・ 高度急性期・急性期機能の分散

北勢医療圏には**公的病院を中心に高度急性期・急性期機能を担う病院が複数存在**します。

特に、三四区域では、**市立四日市病院と三重県立総合医療センターが高度急性期と急性期機能を多く有しており、シェアを分け合っている**状況です。

4. 市立四日市病院の現状

・ 基幹病院としての実績

北勢医療圏で最大の病床規模を有し、救命救急センターや総合周産期母子医療センターなどの指定を受けています。

また、診療実績においても**循環器、神経、消化器、がん診療など多くの主要領域でトップシェア**となっています。

・ 経営面と運用の課題

2018年度以降、**継続的な医業赤字**の状態にあります。**収益は右肩上がりで増加していますが、人件費をはじめとする費用の増加が収益の増加を超過**している状況にあります。

病床稼働率が75%を下回る推移を見せる一方、外来入院患者比率が268.8%(2023年度)とベンチマーク(BM)病院を大幅に上回っています。

I 国及び県の医療政策

I-1 第8次医療計画のポイント(2024年度～2029年度)

医療計画は、医療法の規定に基づき、地域の実情に応じて、医療提供体制の確保を図るために、都道府県が定める計画である。現在は第8次医療計画期間である。

基礎調査報告書p.3

全体について

- 新型コロナの感染拡大により浮き彫りとなった地域医療の様々な課題に対応するとともに、人口構造の変化への対応を図る
- 新興感染症への対応に関する事項を追加
- 第7次医療計画に追加した「医師確保計画」「外来医療計画」についてもそれぞれのガイドラインに基づき併せて見直しを行う
- 二次医療圏の設定について先行して議論を行う

5 疾病・6 事業及び在宅医療について

【がん】がん医療の均てん化及び拠点病院等の役割分担と連携による地域の実情に応じた集約化を推進
【脳卒中】急性期診療体制の構築、回復期や維持期・生活期の医療体制の強化
【心血管疾患】回復期・慢性期の診療体制強化や急性期から一貫した体制の整備
【糖尿病】発症予防、糖尿病及び合併症の治療・重症化予防のそれぞれのステージに重点を置いて取り組むための体制構築
【精神疾患】患者の病状に応じ、医療、障害福祉・介護その他のサービスを切れ目なく受けられる体制整備
【救急】増加する高齢者の救急や、特に配慮を要する救急患者を受け入れるために、地域における救急医療機関の役割を明確化
【災害】災害拠点病院等の豪雨災害の被害を軽減するため、地域の浸水対策推進
【新興感染症】新型コロナ対応の教訓を踏まえ、当該対応での最大規模の体制を目指し、地域の役割分担を踏まえた新興感染症及び通常医療の提供体制の確保
【へき地】医師確保への配慮とともに、オンライン診療を含む遠隔医療を活用
【周産期・小児】ハイリスク妊産婦への対応や、医療的ケア児への支援にかかる体制整備
【在宅医療】在宅医療において積極的役割を担う医療機関及び在宅医療に必要な連携を担う拠点を位置付け、適切な在宅医療の圏域を設定。各職種の機能・役割についても明確化

外来医療について

- 紹介受診重点医療機関となる医療機関を明確化するとともに、地域の外来医療の提供状況について把握、今後の地域の人口動態・外来患者推計等も踏まえ外来医療提供体制のあり方について検討を行う

医療従事者の確保について

- 2024年4月に医師の時間外・休日労働の上限規制が施行されることを踏まえ、医療機関における医師の働き方改革に関する取組の推進、地域医療構想に関する取組と連動させ、医師確保の取組を推進
- 医師確保計画の策定において基礎となる、医師偏在指標を活用し、県内の医師増加を基本方針とする
- 地域偏在等にも対応できるよう、地域口腔ケアステーションを拠点として医療、介護関係者等と連携した歯科保健医療を推進
- 特定行為研修修了者その他の専門性の高い看護師の養成と確保を推進する

その他の事項

- 医療機関における医療安全推進方策の検討を進め、医療事故や院内感染の未然防止、再発防止策を実行するための組織的な体制整備を推進
- デジタル化により医療現場の業務効率化や人材の有効活用が図られ、患者同意のもと診療情報が共有されることで、切れ目なく質の高い医療が受けられることを目指す

出典：厚生労働省令和5年度第1回医療政策研修会資料より

(C) Copyright 2025 SHIP HEALTHCARE Research&Consulting,INC. All rights reserved.

I - 2 - ① 新たな地域医療構想の考え方

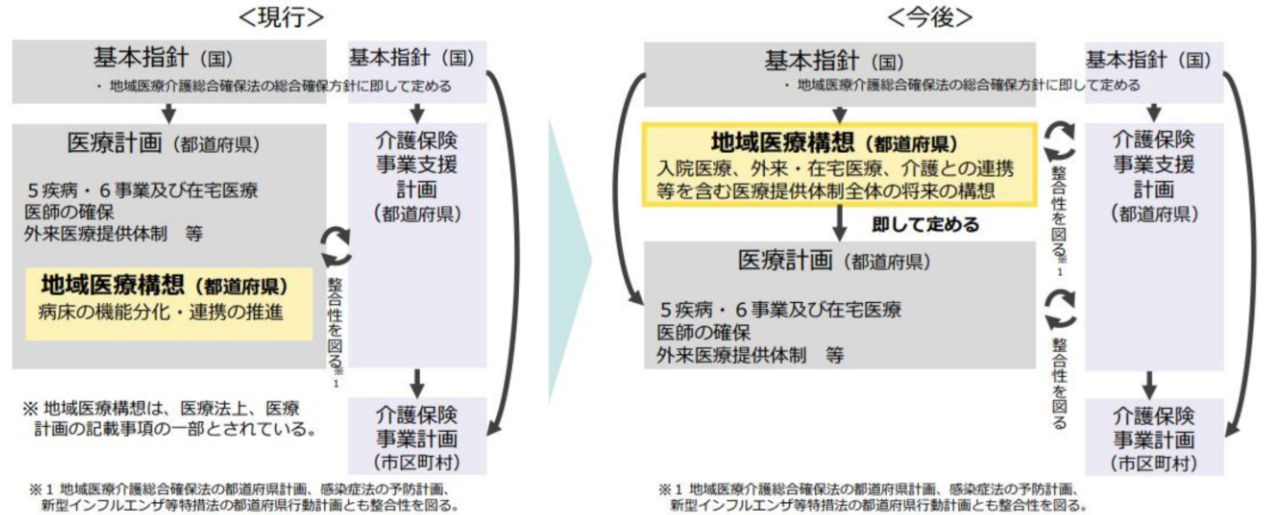
地域医療構想の位置づけの変化

基礎調査報告書p.4

本構想は、限られた医療資源を効率的に活用し、切れ目のない医療・介護サービスの体制を構築することを目的とするものである。病床の機能分化・連携、在宅医療の充実を推進するため、医療計画の一部として策定が義務付けられており、現在は2040年頃を見据えた新たな地域医療構想に向けて取り組みが進められている。

2040年以降の超高齢化社会を見据えた医療提供体制の再構築	医療機関機能の導入と病床機能の見直し
➢ 人口減少・高齢化に対応（全世代・全地域の適切な医療・介護の提供） ➢ 病床機能から、外来・在宅・介護との連携を含む医療提供体制へ転換 ➢ 精神医療の位置づけ強化（精神病床の機能分化、在宅体制の確保等） ➢ 医療従事者の持続可能な働き方を確保	➢ 新たに5つの医療機関機能が導入 ・高齢者救急・地域急性期機能 ・在宅医療等連携機能 ・急性期拠点機能 ・専門等機能（例：リハビリや特化診療） ・医育および広域診療機能（大学病院本院等） ➢ 病床機能の再編 ・高度急性期／急性期／回復期／慢性期の区分継続 ・回復期機能、⇒「包括期機能」として再定義
医療DXの推進（取組み例）	
➢ 電子カルテ情報共有サービスの普及推進 ➢ マイナンバーカードを活用した医療費助成の効率化	
医師偏在対策の強化	
➢ 「重点医師偏在対策支援区域」の設定 ➢ 医師偏在是正プランの策定と実効性確保	

■ 地域医療構想の位置づけの変化



出典：第6回新たな地域医療構想等に関する検討会

(C) Copyright 2025 SHIP HEALTHCARE Research&Consulting,INC. All rights reserved.

I - 2 - ② 新たな地域医療構想の考え方

医療機関機能の考え方(案)

基礎調査報告書p.5

地域の実情に応じて、「治す医療」を担う医療機関と「治し支える医療」を担う医療機関の役割分担を明確化し、医療機関の連携・再編・集約化を推進する方針が検討されている。北勢医療圏は2040年時点で人口が約75万人となる見込みであり、急性期拠点機能は概ね2～3病院で担うことが考えられる。

■ 医療機関機能の考え方（案）

区域	現在の人口規模 の目安	急性期拠点機能	高齢者救急・ 地域急性期機能	在宅医療等連携機能	専門等機能
大都市型	100万人以上 ※東京などの人口の極めて多い地域においては、個性が高く、地域偏在等の観点も踏まえつつ別途整理	- 将来の手術等の医療需要を踏まえ、区域内に複数医療機関を確保 - 都道府県からの依頼等を踏まえ、地域の医療機関へ医師を派遣する ※人口20万人～30万人毎に1拠点を確保することを目安とする。	高齢者救急の対応の他、骨折の手術など、頻度の多い一部の手術についても対応	- 診療所による在宅医療の実施が多い場合、そうした診療所や訪問ステーション等の支援 - 高齢者施設等からの患者受入等の連携	- 特定の診療科に特化した手術等を提供 - 有床診療所の担う地域に根ざした診療機能 - 集中的な回復期リハビリテーション - 高齢者等の中長期にわたる入院医療等
地方都市型	50万人程度	- 将来の手術等の医療需要を踏まえ、区域内に1～複数医療機関を確保 - 都道府県からの依頼等を踏まえ、地域の医療機関へ医師を派遣する ※人口20万人～30万人毎に1拠点を確保することを目安とする	- 高齢者救急の対応 - 手術等が必要な症例については地域の医療資源に応じて、急性期拠点機能を有する医療機関へ搬送	- 地域の在宅医療の提供状況に応じて、在宅医療・訪問看護の提供や後方支援を実施 - 高齢者施設等からの患者受入れ等の連携	
人口の少ない地域	～30万人 ※20万人未満の地域については、急性期拠点機能の確保が可能かどうか等について特に点検し、圏域を設定	- 手術等の医療資源を多く投入する医療行為について集約化し区域内に1医療機関を確保する - 地域の医療資源に応じて、高齢者救急・地域急性期機能や在宅医療等連携機能をあわせて選択することも考えられる ※大学病院本院が区域内にある場合、大学が担う医療の内容等を踏まえた上で、必要に応じて大学病院本院と別に医療機関を確保しうる	- 地域の医療資源の範囲内で高齢者救急の対応 - 手術等が必要な症例については急性期拠点機能を有する医療機関へ搬送	- 診療所による在宅医療の実施が少ない場合、自ら在宅医療や訪問看護を提供 - 高齢者施設等からの患者受入れ等の連携	

※ 地域の実情に応じて、複数の医療機関機能の選択が可能

※ 区域の人口規模については、現在の人口規模に加えて、必要に応じて、2040年の人口等も踏まえながら、どの区域に該当するか等を地域で検討

出典：新たな地域医療構想策定ガイドラインについて（令和7年8月27日） (C) Copyright 2025 SHIP HEALTHCARE Research&Consulting,INC. All rights reserved.

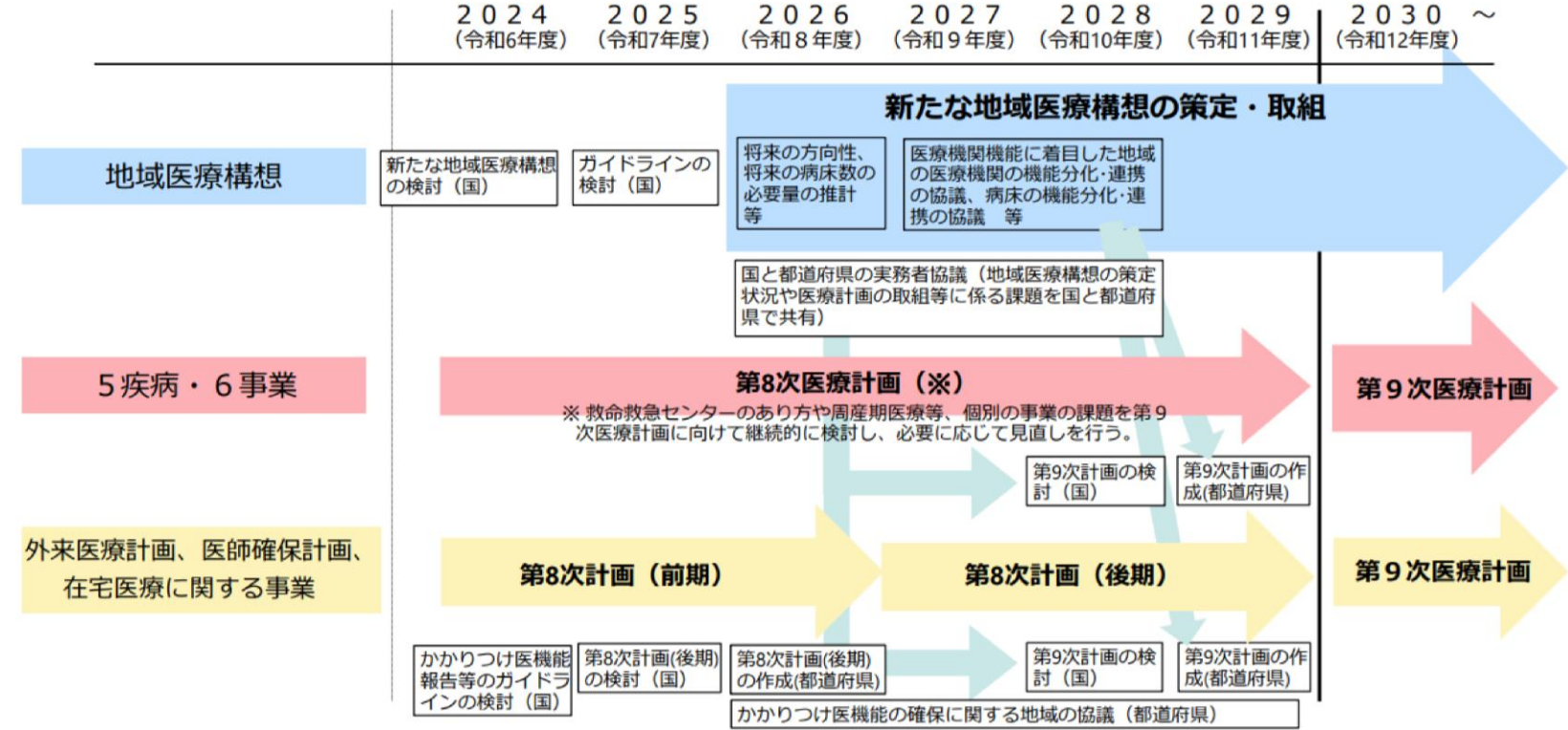
I - 2 - ③ 新たな地域医療構想の考え方

■ 新たな地域医療構想の今後のスケジュール

基礎調査報告書p.6

新たな地域医療構想は、国が令和7年度にガイドラインを策定し、都道府県が令和8年度に地域の医療提供体制方針と病床数の必要量を検討する。その上で、令和9～10年度にかけて、各都道府県にて医療機関の機能分化・連携に関する協議が進められる予定である。

■ 今後のスケジュール（案）



出典：第13回新たな地域医療構想等に関する検討会(令和6年12月3日)

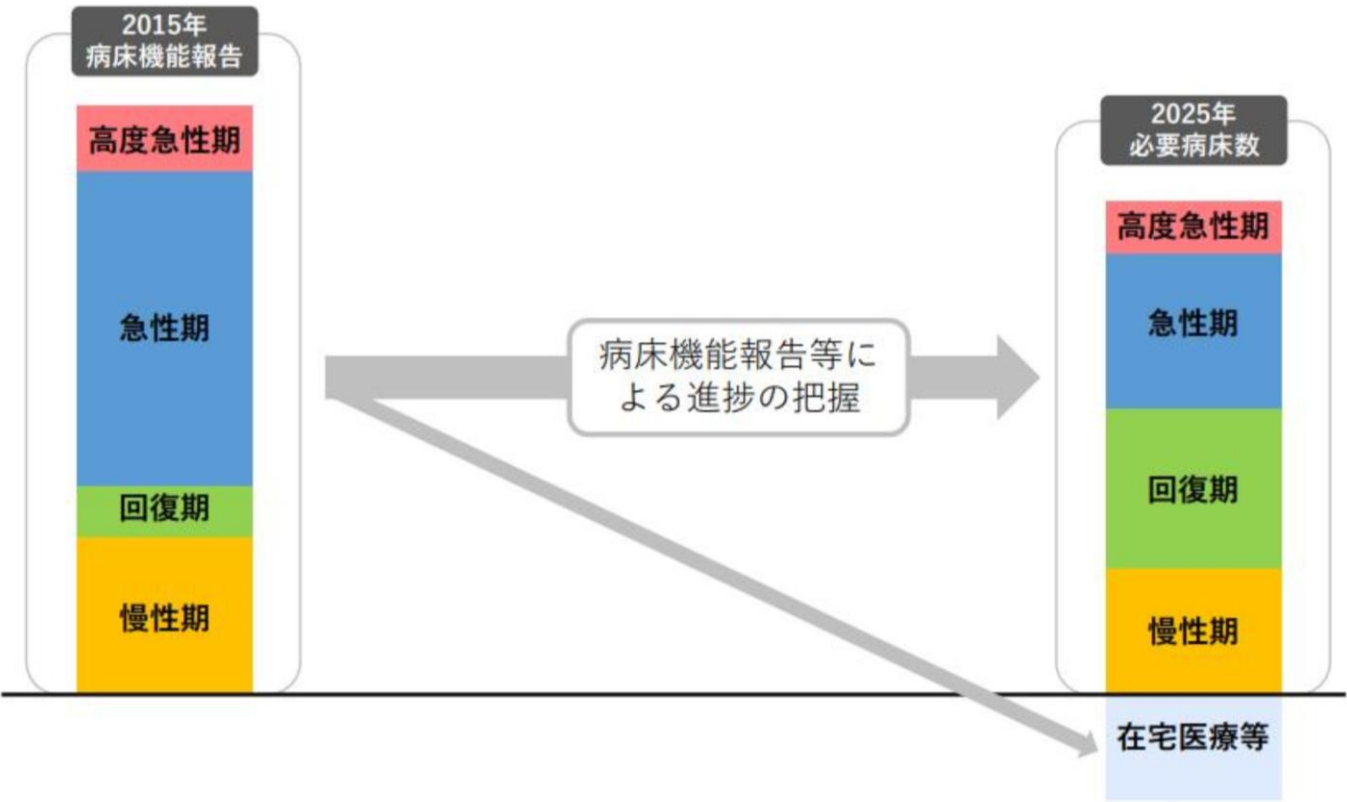
I - 3 - ① 病床機能報告による医療機能・病床機能(定量基準分析)

「病床機能の現況」の把握について

基礎調査報告書p.14

必要病床数に対し、現在の機能別病床数の状況を把握・とりまとめるための仕組みとして、医療法に基づく病床機能報告制度が設けられており、毎年度、その結果により病床機能の現状を把握している。

■「病床機能の現状」の把握について



出典：令和6年度第2回三泗地域医療構想調整会議資料【資料1】令和6年度病床機能の現状について

(C) Copyright 2025 SHIP HEALTHCARE Research&Consulting,INC. All rights reserved.

I - 3 - ② 病床機能報告による医療機能・病床機能(定量基準分析)

「病床機能の現状」の把握について

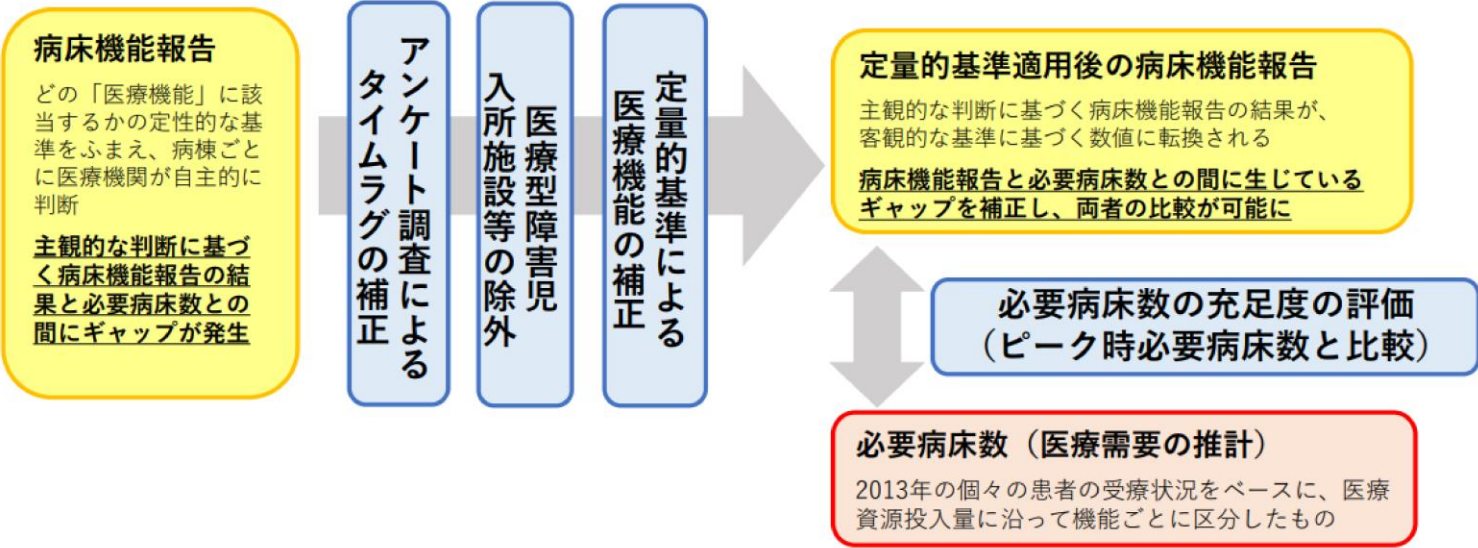
基礎調査報告書p.15

2. 北勢医療圏における医療提供体制調査

(2) 病床機能報告による医療機能・病床機能(定量基準分析)

病床機能報告は、取りまとめに一定の期間を要することから、最新の状況が反映されない場合がある。また、医療機関が自主的に病床機能を選択して報告する仕組みであるため、客観的な比較が困難な場合がある。そこで、客観的な比較を可能とするため、定量的基準に基づく分析を行い、医療機能の補正を実施することで、必要病床数との比較を行う仕組みを導入している。

■「病床機能の現状」の把握について



出典：令和6年度第2回三泗地域医療構想調整会議資料【資料1】令和6年度病床機能の現状について

(C) Copyright 2025 SHIP HEALTHCARE Research&Consulting,INC. All rights reserved.

I - 3 - ② 病床機能報告による医療機能・病床機能(定量基準分析)

三重県独自の病床機能の位置付け

基礎調査報告書p.16

厚生労働省が定める四つの機能別病床に加え、三重県独自の概念として「地域急性期」の区分を設定し、定量的基準に基づく医療機能の補正を行った。また、地域急性期は、急性期を経過した患者の在宅復帰支援や、在宅療養患者を含む軽症・中等症の救急患者の受入れを担う病床として位置付けられている。

■ 三重県独自の病床機能の位置付け

必要病床数	病棟のイメージ	病床機能報告
高度急性期	集中治療室など、特に重篤な症状を有する患者を受け入れる病棟 ＝高度急性期	高度急性期
急性期	重篤な症状を有する救急患者等を受け入れ、 診療密度の濃い医療を提供する病棟 ＝急性期	急性期
回復期	在宅復帰に向けた支援や救急患者（在宅療養患者の 急変時を含む）等を受け入れる病棟 ⇒ 地域急性期	
	在宅復帰に向けたリハビリテーションを提供する病棟 ＝回復期	回復期
慢性期	長期療養が必要な患者を受け入れる病棟 ＝慢性期	慢性期

出典：令和6年度第2回三泗地域医療構想調整会議資料「【参考資料1】三重県版定量的基準について」

(C) Copyright 2025 SHIP HEALTHCARE Research&Consulting,INC. All rights reserved.

Ⅱ 地域の現状

Ⅱ-1-① 三重県の状況 二次医療圏・構想区域

三重県の二次保健医療圏は、北勢・中勢伊賀・南勢志摩・東紀州の四つの医療圏に区分され、医療圏内それぞれに構想区域が設定されている。

市立四日市病院の所在する四日市市は、北勢医療圏に属する三泗構想区域に含まれる。

基礎調査報告書p.9



二次医療圏の定義:

医療法第30条の4・医療法施行規則30条の29第1項
医療法第30条の4では医療計画の記載事項として区域設定が定められており、医療法施行規則第30条の29第1項では、地理的条件、日常生活需要、交通事情等を考慮し、一体の区域として一般的な入院医療を提供する体制を確保する単位として設定する考え方が示されている。

構想区域の定義:

医療法第30条の4第2項第7号
同号では、地域における病床の機能分化・連携を推進するため、厚生労働省令で定める基準に従い定める区域を「構想区域」とし、その区域ごとの将来の医療提供体制に関する構想を「地域医療構想」として定める。

Ⅱ-1-② 三重県の状況

定量基準分析の適用結果(県全体)

基礎調査報告書p.17

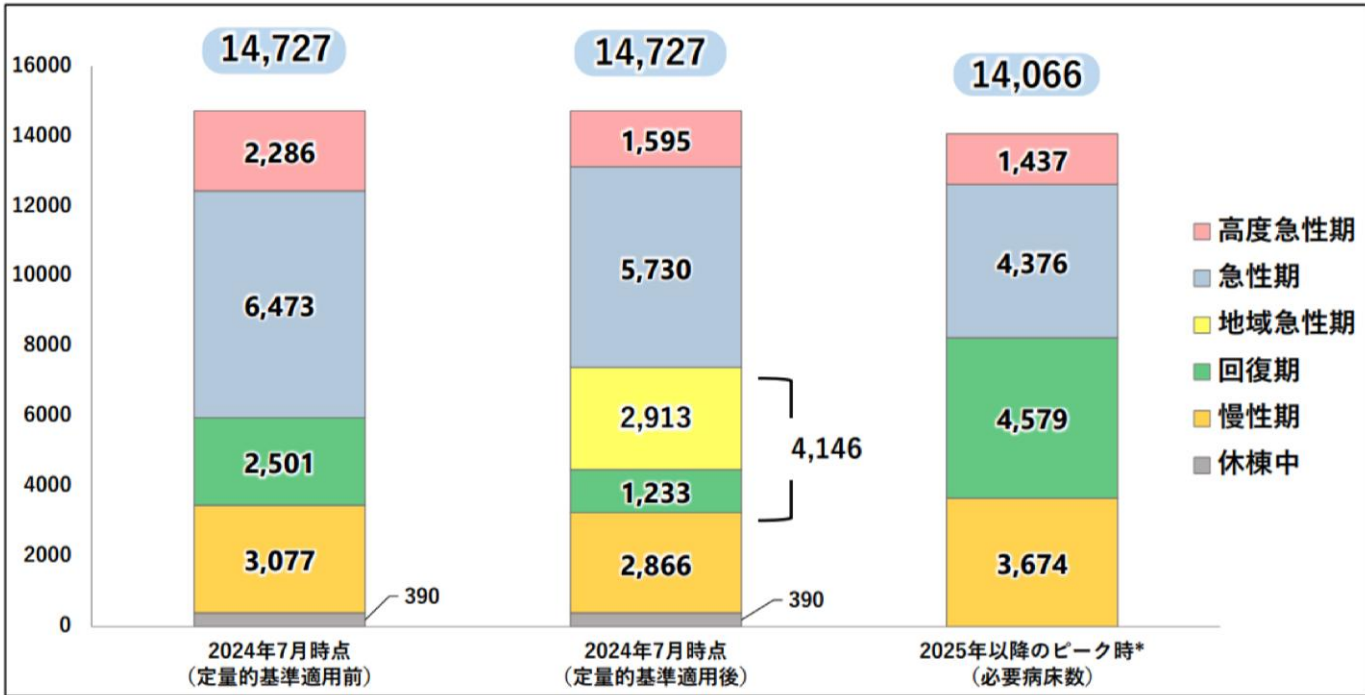
2. 北勢医療圏における医療提供体制調査

(2) 病床機能報告による医療機能・病床機能(定量基準分析)

令和5年度病床機能報告にアンケートによる最新状況を反映し、医療型障害児入所施設等を除いた病床数に定量的基準を適用した結果、県全体で高度急性期・急性期・慢性期は減少し、地域急性期と回復期の合算は4,146床となった。必要病床数との比較では、高度急性期158床、急性期1,354床が過剰である一方、地域急性期・回復期433床、慢性期808床が不足している。

■ 定量基準分析の適用結果(県全体)

※医療型障害児入所施設等(県全体:366床)は除く。



出典：令和6年度第2回三四地域医療構想調整会議資料「資料1」令和6年度病床機能の現状について」

(C) Copyright 2025 SHIP HEALTHCARE Research&Consulting INC. All rights reserved

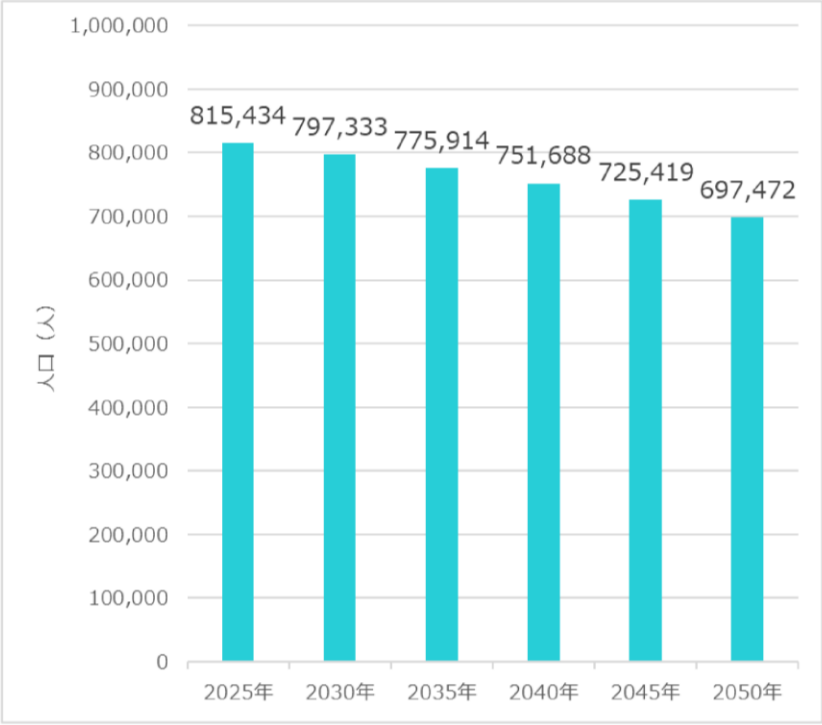
Ⅱ－2－① 北勢医療圏の状況

北勢医療圏の人口推計・年齢階級別人口推計

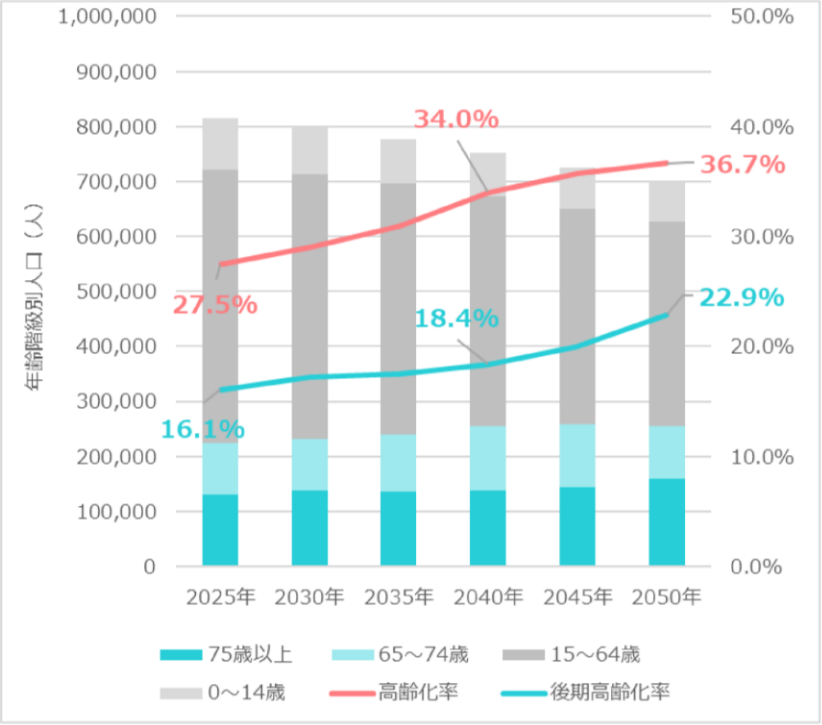
基礎調査報告書p.52

北勢医療圏における人口は今後も減少傾向にあり、高齢化率は上昇することが予想される。
2040年時点の人口は751,688人、高齢化率は34.0%、後期高齢化率は18.4%になると推測される。

■ 人口推計（北勢医療圏）



■ 年齢階級別人口推計（北勢医療圏）



出典：国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口 2023年

Ⅱ－2－② 北勢医療圏の状況

MDC別疾患分類別 入院実患者推計(北勢医療圏)

基礎調査報告書p.58

北勢医療圏の入院患者数は2035年まで増加傾向にあり、その後減少に転じると見込まれる。
傷病別にみると2040年時点で、2025年より5%以上増加が見込まれる領域は②眼科系、④呼吸器系、⑤循環器系、⑪腎尿路系、⑬血液系である。一方、③耳鼻咽喉科系、⑨乳房系、⑫女性生殖器系、⑭新生児系、⑮小児系、⑰精神系は5%以上減少が見込まれる。

■ MDC疾患分類別 入院実患者推計（北勢医療圏）

傷病名	推定患者数						2025年からの増加率					
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
①神経系	3,761	3,898	3,957	3,909	3,864	3,836	100%	104%	105%	104%	103%	102%
②眼科系	2,688	2,785	2,872	2,865	2,830	2,792	100%	104%	107%	107%	105%	104%
③耳鼻咽喉科系	2,315	2,276	2,246	2,192	2,117	2,030	100%	98%	97%	95%	91%	88%
④呼吸器系	7,015	7,367	7,554	7,465	7,380	7,331	100%	105%	108%	106%	105%	104%
⑤循環器系	6,843	7,237	7,459	7,417	7,385	7,402	100%	106%	109%	108%	108%	108%
⑥消化器系	14,242	14,639	14,960	14,867	14,669	14,458	100%	103%	105%	104%	103%	102%
⑦筋骨格系	3,176	3,209	3,250	3,221	3,159	3,083	100%	101%	102%	101%	99%	97%
⑧皮膚系	978	997	997	975	955	938	100%	102%	102%	100%	98%	96%
⑨乳房系	999	971	945	924	896	862	100%	97%	95%	92%	90%	86%
⑩内分泌系	1,719	1,749	1,752	1,721	1,690	1,663	100%	102%	102%	100%	98%	97%
⑪腎尿路系	5,390	5,606	5,773	5,748	5,692	5,641	100%	104%	107%	107%	106%	105%
⑫女性生殖器系	3,039	2,931	2,804	2,673	2,528	2,388	100%	96%	92%	88%	83%	79%
⑬血液系	1,767	1,826	1,874	1,863	1,839	1,814	100%	103%	106%	105%	104%	103%
⑭新生児系	1,171	1,143	1,121	1,070	999	912	100%	98%	96%	91%	85%	78%
⑮小児系	236	230	226	216	201	183	100%	97%	95%	91%	85%	77%
⑯外傷系	4,407	4,590	4,616	4,519	4,466	4,457	100%	104%	105%	103%	101%	101%
⑰精神系	84	83	80	77	74	71	100%	98%	95%	91%	88%	84%
⑱その他	1,101	1,143	1,159	1,140	1,123	1,111	100%	104%	105%	104%	102%	101%
合計	60,932	62,680	63,645	62,864	61,866	60,971	100%	103%	104%	103%	102%	100%

2025年より5%以上増加：赤 2025年より5%以上減少：青

出典：厚生労働省 DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」 2023年度 国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口 2023年
(C) Copyright 2025 SHIP HEALTHCARE Research&Consulting,INC. All rights reserved.

Ⅱ－2－③ 北勢医療圏の状況

ICD-10疾患分類別 外来患者推計(北勢医療圏)

基礎調査報告書p.55

北勢医療圏の外来患者数は、全体として減少傾向にあると推測される。
傷病別にみると2040年時点で、2025年より5%以上増加が見込まれる領域は⑨循環器系である。一方、①感染症系、③血液系、⑤精神系、⑩呼吸器系、⑫皮膚系、⑮妊娠系、⑯周産期系、⑰先天奇形系、⑲損傷・中毒系は5%以上減少が見込まれる。

■ ICD-10疾患分類別 外来患者推計（北勢医療圏）
【用語】 ICD-10：国際疾病分類第10版。世界保健機関（WHO）が策定した、疾病や健康問題を統一的に分類・コード化する国際基準。

傷病名	推定患者数						2025年からの増減率					
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
①感染症及び寄生虫症	963	942	924	905	876	845	100%	98%	96%	94%	91%	88%
②新生物	1,664	1,663	1,648	1,649	1,651	1,632	100%	100%	99%	99%	99%	98%
③血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	129	126	124	121	119	116	100%	98%	96%	94%	92%	90%
④内分泌、栄養及び代謝疾患	2,781	2,810	2,812	2,820	2,802	2,749	100%	101%	101%	101%	101%	99%
⑤精神及び行動の障害	1,603	1,571	1,524	1,472	1,415	1,363	100%	98%	95%	92%	88%	85%
⑥神経系の疾患	1,032	1,065	1,080	1,069	1,059	1,061	100%	103%	105%	104%	103%	103%
⑦眼及び付属器の疾患	2,144	2,143	2,125	2,125	2,118	2,089	100%	100%	99%	99%	99%	97%
⑧耳及び乳突突起の疾患	522	520	514	507	496	485	100%	100%	98%	97%	95%	93%
⑨循環器系の疾患	5,357	5,568	5,685	5,740	5,777	5,808	100%	104%	106%	107%	108%	108%
⑩呼吸器系の疾患	4,095	3,901	3,770	3,646	3,497	3,309	100%	95%	92%	89%	85%	81%
⑪消化器系の疾患	7,992	7,946	7,872	7,750	7,560	7,352	100%	99%	99%	97%	95%	92%
⑫皮膚及び皮下組織の疾患	2,048	1,997	1,938	1,883	1,824	1,758	100%	98%	95%	92%	89%	86%
⑬筋骨格系及び結合組織の疾患	5,153	5,249	5,232	5,250	5,280	5,267	100%	102%	102%	102%	102%	102%
⑭腎尿路生殖器系の疾患	2,174	2,176	2,152	2,129	2,099	2,059	100%	100%	99%	98%	97%	95%
⑮妊娠、分娩及び産後	75	74	72	68	63	57	100%	98%	95%	91%	83%	75%
⑯周産期に発生した病態	21	20	20	19	18	16	100%	97%	95%	91%	85%	77%
⑰先天奇形、変形及び染色体異常	108	102	98	94	90	84	100%	94%	91%	88%	84%	78%
⑱症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	598	591	583	574	565	553	100%	99%	97%	96%	94%	93%
⑲損傷、中毒及びその他の外因の影響	1,840	1,815	1,771	1,730	1,690	1,649	100%	99%	96%	94%	92%	90%
⑳健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	6,418	6,392	6,345	6,291	6,183	6,010	100%	100%	99%	98%	96%	94%
㉑特殊目的用コード	193	188	183	174	166	158	100%	98%	95%	90%	86%	82%
合計	46,910	46,860	46,472	46,017	45,348	44,422	100%	100%	99%	98%	97%	95%

2025年より5%以上増加：赤 2025年より5%以上減少：青

出典：厚生労働省 患者調査 2023年、国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口 2023年
(C) Copyright 2025 SHIP HEALTHCARE Research&Consulting,INC. All rights reserved.

II-2-④ 北勢医療圏の状況

■ 患者の流出入

基礎調査報告書p.11

北勢医療圏の完結率は88%であり、流出率12%は他の医療圏と比較して最も低い。
さらに三泗構想区域は、同医療圏では流出率・流入率がいずれも最も低く、医療の完結性が最も高い区域となっている。

■ 一般病床及び療養病床の入院患者の流出・流入状況

(単位：千人/日)

	総数	北勢				中勢伊賀			南勢志摩			東紀州		県外	流出率
			桑員	三泗	鈴亀		津	伊賀		松阪	伊勢志摩		東紀州		
総数	6.4	2.4	0.7	1.2	0.5	1.7	1.3	0.5	1.5	1.0	0.6	0.5	0.5	0.3	5%
北勢	2.5	2.2				0.1			0.0			0.0		0.2	12%
	桑員	0.7		0.5	0.1	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.1	26%
	三泗	1.3		0.1	1.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	20%
	鈴亀	0.5		0.0	0.1	0.3		0.1	0.0		0.0	0.0		0.0	42%
中勢伊賀	1.5	0.1				1.3			0.1			0.0		0.1	15%
	津	0.9		0.0	0.0	0.0		0.8	0.0		0.1	0.0		0.0	13%
	伊賀	0.6		0.0	0.0	0.0		0.1	0.4		0.0	0.0		0.1	29%
南勢志摩	1.7	0.0				0.2			1.4			0.0		0.0	15%
	松阪	0.9		0.0	0.0	0.0		0.1	0.0		0.7	0.0		0.0	24%
	伊勢志摩	0.8		0.0	0.0	0.0		0.1	0.0		0.2	0.5		0.0	35%
東紀州	0.6	0.0				0.0			0.1			0.4		0.1	28%
	東紀州	0.6		0.0	0.0	0.0		0.0	0.0		0.1	0.0		0.4	28%
県外	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
流入率	3%	9%	24%	18%	37%	24%	34%	11%	9%	32%	12%	10%	10%	-	-

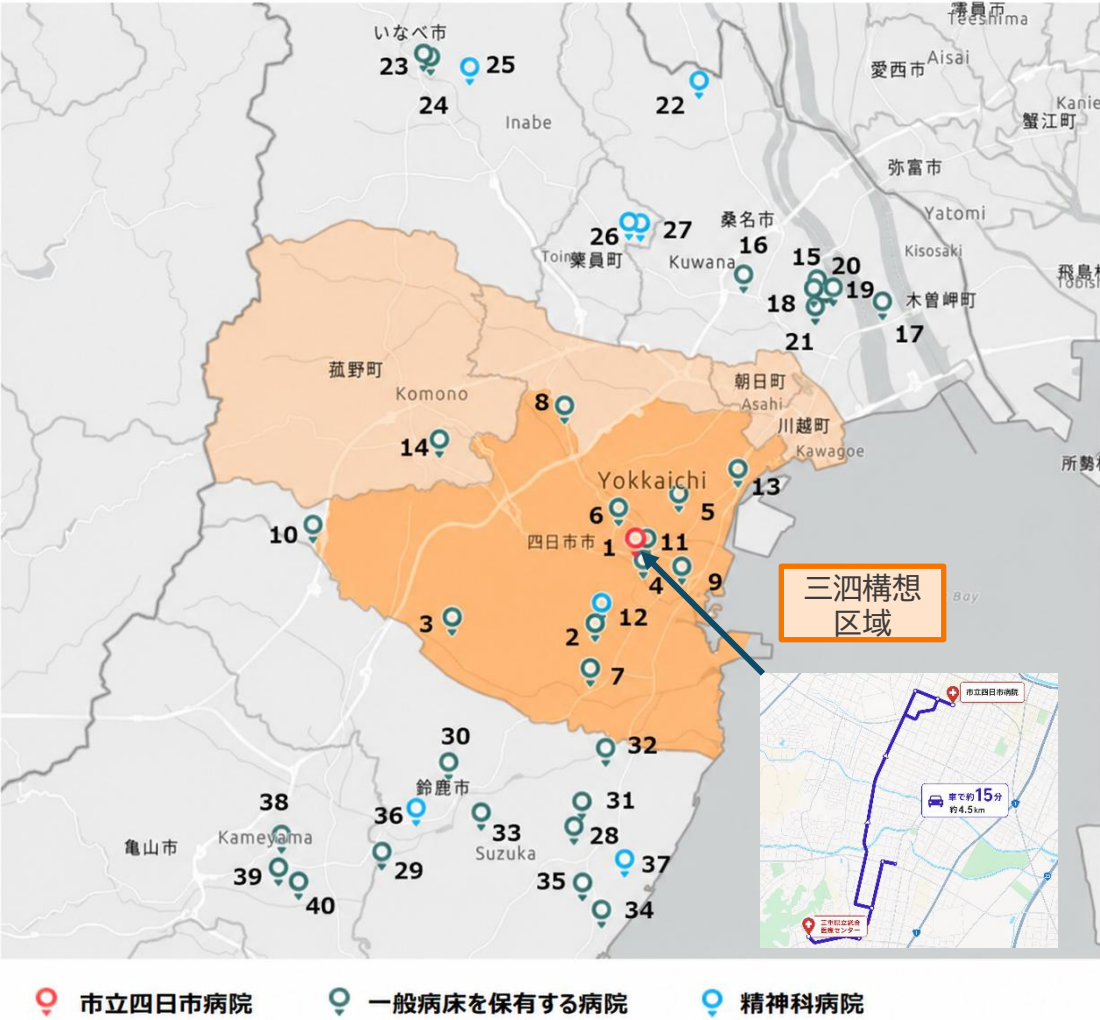
出典：第8次三重県医療計画（令和6年4月～令和12年3月）

Ⅱ－3－① 北勢医療圏内の医療機関の状況

北勢医療圏内の医療機関分布状況・病院一覧

基礎調査報告書p.12

北勢医療圏内の医療機関分布状況



北勢医療圏内の病院一覧

NO.	構想区域	市町	施設名	NO.	構想区域	市町	施設名
1	三河	四日市市	市立四日市病院	21	桑員	桑名市	山崎病院
2	三河	四日市市	三重県立総合医療センター	22	桑員	桑名市	多度あやめ病院
3	三河	四日市市	小山田記念温泉病院	23	桑員	いなべ市	いなべ総合病院
4	三河	四日市市	主体会病院	24	桑員	いなべ市	日下病院
5	三河	四日市市	四日市羽津医療センター	25	桑員	いなべ市	北勢病院
6	三河	四日市市	みたき総合病院	26	桑員	東員町	東員病院
7	三河	四日市市	山中胃腸科病院	27	桑員	東員町	大仲さつき病院
8	三河	四日市市	四日市消化器医療センター	28	鈴亀	鈴鹿市	鈴鹿中央総合病院
9	三河	四日市市	石田胃腸科病院	29	鈴亀	鈴鹿市	鈴鹿回生病院
10	三河	四日市市	水沢病院	30	鈴亀	鈴鹿市	鈴鹿病院
11	三河	四日市市	四日市徳新会病院	31	鈴亀	鈴鹿市	村瀬病院
12	三河	四日市市	総合心療センターひなが	32	鈴亀	鈴鹿市	高木病院
13	三河	四日市市	富田浜病院	33	鈴亀	鈴鹿市	塩川病院
14	孤野町	孤野町	孤野厚生病院	34	鈴亀	鈴鹿市	白子ウィメンズホスピタル
15	桑員	桑名市	桑名市総合医療センター	35	鈴亀	鈴鹿市	鈴鹿医療科学 大学附属校の森病院
16	桑員	桑名市	ヨナハ丘の上病院	36	鈴亀	鈴鹿市	鈴鹿さくら病院
17	桑員	桑名市	長島中央病院	37	鈴亀	鈴鹿市	鈴鹿厚生病院
18	桑員	桑名市	青木記念病院	38	鈴亀	亀山市	亀山市立医療センター
19	桑員	桑名市	もりえい病院	39	鈴亀	亀山市	田中病院
20	桑員	桑名市	桑名病院	40	鈴亀	亀山市	亀山回生病院

出典：全国厚生局の届出データ（2025年9月25日時点）

Ⅱ－３－② 北勢医療圏内の医療機関の状況

北勢医療圏内の病院の基本情報一覧

基礎調査報告書p.13

市立四日市病院は、北勢医療圏内で最大の病床規模を有し、入院延患者数、新入院患者数も同圏内で最多である。

■北勢医療圏内の病院の基本情報一覧

構想区域	市町	施設名	設立主体	許可病床数 (床) ※1		稼働病床数 (床) ※2		入院 延べ患者数 (人)	病床稼働率 ※3	平均 在院日数 (日) ※4	新入院患者数 (転棟含む) (人)	退院患者数 (転棟含む) (人)
				一般	療養	一般	療養					
三河	四日市市	市立四日市病院	公立	535	0	527	0	159,583	73.6% ※5	10.7 ※5	18,634	18,299
		三重県立総合医療センター	公立	413	0	371	0	108,052	79.8%	9.3	11,898	11,324
		小山田記念温泉病院	民間	222	155	203	152	114,807	88.6%	73.5	1,566	1,557
		主体会病院	民間	105	123	99	121	70,384	87.7%	56.8	1,247	1,232
		四日市羽津医療センター	公的	226	0	211	0	53,383	69.3%	10.7	5,021	4,989
		みたき総合病院	民間	111	88	98	86	54,702	81.5%	22.2	2,452	2,469
		富田浜病院	民間	47	98	47	98	51,292	96.9%	28.4	1,806	1,812
		山中胃腸科病院	民間	96	45	45	32	21,353	76.0%	44.4	471	491
		四日市消化器病センター(※6)	民間	20	20	20	20	12,534	85.8%	15.1	835	828
		石田胃腸科病院	民間	38	0	31	0	8,744	77.3%	33.8	258	259
		水沢病院	民間	0	38	0	26	9,390	98.9%	436.7	22	21
		四日市徳新会病院	民間	0	30	0	30	9,626	87.9%	260.2	37	37
	菰野町	菰野厚生病院	公的	230	84	219	0	65,297	81.7%	20.4	3,214	3,192
桑名	桑名市	桑名市総合医療センター	公立	400	0	355	0	115,057	88.8%	9.7	11,867	11,817
		ヨナハ丘の上病院	民間	91	94	74	94	46,911	76.5%	15.6	3,001	3,021
		長島中央病院	民間	0	160	0	147	47,767	89.0%	265.4	186	174
		青木記念病院	民間	106	0	106	0	34,674	89.6%	15.9	2,194	2,168
		もりえい病院	民間	54	0	54	0	18,977	96.3%	16.0	1,187	1,190
		桑名病院	民間	50	50	50	50	16,081	44.1%	144.9	111	111
		山崎病院	民間	0	48	0	48	14,056	80.2%	208.2	68	67
	いなべ市	いなべ総合病院	公的	220	0	203	0	53,970	72.8%	12.0	4,489	4,480
		日下病院	民間	106	48	106	48	51,164	91.0%	69.9	733	731
鈴鹿	鈴鹿市	鈴鹿中央総合病院	公的	460	0	430	0	134,927	86.0%	10.4	12,930	12,987
		鈴鹿回生病院	民間	326	0	326	0	82,159	69.0%	11.6	6,956	7,186
		鈴鹿病院	公立	290	0	275	0	95,734	95.4%	530.4	178	183
		村瀬病院	民間	60	158	60	158	78,940	99.2%	31.6	2,498	2,506
		高木病院	民間	0	79	0	78	27,345	96.0%	484.0	62	51
		塩川病院	民間	57	0	53	0	15,360	79.4%	20.1	778	750
		白子ウィメンズホスピタル	民間	29	0	29	0	8,672	81.9%	7.9	1,090	1,095
		鈴鹿医療科学大学附属桜の森病院	民間	25	0	25	0	7,477	81.9%	22.9	328	324
	亀山市	亀山市立医療センター	公立	90	0	82	0	19,625	65.6%	9.1	1,966	2,370
		田中病院	民間	0	79	0	58	18,594	87.8%	476.8	37	41
		亀山回生病院	民間	0	76	0	60	19,475	88.9%	324.6	60	60

出典：厚生労働省 病床機能報告 2024年度（報告対象期間＝2023年4月～2024年3月）

※1：許可病床数 医療法に基づき、都道府県知事より設置の許可を受けた病床数。

※2：稼働病床数 病床機能報告において、過去1年間で最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数。

※3：病床稼働率＝年間入院延べ患者数÷年間延べ病床数

※4：平均在院日数＝年間入院延べ患者数÷（新入院患者数＋退院患者数）×1/2

※5：市立四日市病院の「病床稼働率・平均在院日数」は令和5年度地方公営企業年鑑を参照。

※6：四日市消化器病センターの情報は、2023年度病床機能報告（報告対象期間＝2022年4月～2023年3月）及び同病院ホームページを参考に記載。

Ⅱ－３－③ 北勢医療圏内の医療機関の状況

北勢医療圏における病院の診療科目一覧

基礎調査報告書p.23

北勢医療圏内において、総合診療科、感染症内科、漢方内科、内視鏡内科、緩和ケア外科、小児外科、臨床検査科が、標榜の少ない診療科（1施設のみ）である。

■北勢医療圏における病院の診療科目一覧

構想区域	市町	施設名	病床数	診療科目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
				総合診療科	内科	消化器内科	循環器内科	腎臓内科	肝臓内科	呼吸器内科	糖尿病・内分泌内科	血液内科／血液・腫瘍内科	神経内科	リウマチ科※1	緩和ケア科／緩和ケア内科※2	耳鼻いんこう科	アレルギー科	感染症内科	人工透析内科	漢方内科	内視鏡内科	外科	消化器外科※3	呼吸器外科	乳腺外科※4	形成外科	脳神経外科※5	心臓血管外科	整形外科	緩和ケア外科	小児科	小児外科	産科	婦人科	皮膚科	泌尿器科	こう門科／こう門外科	眼科	麻酔科	小児歯科	歯科／歯科口腔外科※6	精神科／心療内科	リハビリテーション科	放射線科※7	病理診断科	臨床検査科	救急科																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
三河	四日市市	市立四日市病院	535	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

出典：医療介護情報局 医療機関届出情報

※1リウマチ科には膠原病リウマチ内科を含む

※2緩和ケア科/緩和ケア内科にはペインクリニック、疼痛緩和内科を含む

※3消化器外科には気管食道外科を含む

※4乳腺外科には内分泌外科を含む

※5脳神経外科には脳外科を含む

※6歯科/歯科口腔外科には矯正歯科を含む

※7放射線科には放射線診断、治療部門を持つ病院を含む

(C) Copyright 2025 SHIP HEALTHCARE Research&Consulting,INC. All rights reserved.

Ⅱ－３－④ 北勢医療圏内の医療機関の状況

■退院患者数及びシェア率①

基礎調査報告書p.25

北勢医療圏内の医療機関別DPC退院患者（MDC疾患分類①～⑩）のうち、市立四日市病院は神経系、呼吸器系、循環器系、消化器系、皮膚系、乳房系、内分泌系でトップシェアとなっている。

■北勢医療圏内の医療機関別DPC退院患者の状況（①神経系～⑩内分泌系）

傷病名	DPC退院患者の状況（上段：退院患者数 下段：医療圏内シェア率）																					
	三河										桑名						鈴鹿					
	市立 四日市 病院	三重県立 総合 医療セン ター	小山田 記念 温泉病院	主体会 病院	四日市 羽津 医療セン ター	みたき 総合病院	山中胃腸 科病院	四日市 消化器病 センター	富田浜 病院	菰野厚生 病院	桑名市 総合 医療セン ター	ヨナハ 丘の上 病院	青木記念 病院	もりえい 病院	いなべ 総合病院	日下病院	鈴鹿中央 総合病院	鈴鹿回生 病院	村瀬病院	白子 ウィメンズ ホスピタル	塩川病院	亀山市立 医療セン ター
①神経系	931	467			31	10				14	504		15	13	21	11	334	409			48	
	33.2%	16.6%			1.1%	0.4%				0.5%	18.0%		0.5%	0.5%	0.7%	0.4%	11.9%	14.6%			1.7%	
②眼科系	235				87			232		609	465	94					536					193
	9.6%				3.5%			9.5%		24.8%	19.0%	3.8%					21.9%					7.9%
③耳鼻咽喉科系	103	65			39	288				49	327				26		119	141	12			10
	8.7%	5.5%			3.3%	24.4%				4.2%	27.7%				2.2%		10.1%	12.0%	1.0%			0.8%
④呼吸器系	1,143	1,080	21	25	101	12	49		12	57	892	40	92	62	122	72	951	340	99		20	54
	21.8%	20.6%	0.4%	0.5%	1.9%	0.2%	0.9%		0.2%	1.1%	17.0%	0.8%	1.8%	1.2%	2.3%	1.4%	18.1%	6.5%	1.9%		0.4%	1.0%
⑤循環器系	2,293	765			68	45	16			55	1,124		16	16	56	24	1,072	388	18			25
	38.3%	12.8%			1.1%	0.8%	0.3%			0.9%	18.8%		0.3%	0.3%	0.9%	0.4%	17.9%	6.5%	0.3%			0.4%
⑥消化器系	1,904	1,426			1,546	77	18	99		211	1,577	80	287	18	500		1,707	1,071	39		36	38
	17.9%	13.4%			14.5%	0.7%	0.2%	0.9%		2.0%	14.8%	0.8%	2.7%	0.2%	4.7%		16.1%	10.1%	0.4%		0.3%	0.4%
⑦筋骨格系	199	251							149		96				161		55	214	88			
	16.4%	20.7%							12.3%		7.9%				13.3%		4.5%	17.6%	7.3%			
⑧皮膚系	153	40			24	16				10	24				56	17	50	33	10			
	35.3%	9.2%			5.5%	3.7%				2.3%	5.5%				12.9%	3.9%	11.5%	7.6%	2.3%			
⑨乳房系	331	77			32						98						69	21				
	52.7%	12.3%			5.1%						15.6%						11.0%	3.3%				
⑩内分泌系	123	66			46						87				10	12	75	24				
	27.8%	14.9%			10.4%						19.6%				2.3%	2.7%	16.9%	5.4%				

出典：厚生労働省 DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」 2023年度 【用語】 MDC：DPC制度で取りまとめられた患者コードを主要疾患別に分類したもの

Ⅱ－３－④ 北勢医療圏内の医療機関の状況

■退院患者数及びシェア率②

基礎調査報告書p.26

北勢医療圏内の医療機関別DPC退院患者（MDC疾患分類⑪～⑱）のうち、市立四日市病院は腎尿路系、血液系、新生児系、小児系でトップシェアとなっている。

■北勢医療圏内の医療機関別DPC退院患者の状況（⑪腎尿路系～⑱その他、合計）

傷病名	DPC退院患者の状況（上段：退院患者数 下段：医療圏内シェア率）																					
	三河										桑名						鈴鹿					
	市立 四日市 病院	三重県立 総合 医療セン ター	小山田 記念 温泉病院	主体会 病院	四日市 羽津 医療セン ター	みたき 総合病院	山中胃腸 科病院	四日市 消化器病 センター	富田浜 病院	菟野厚生 病院	桑名市 総合 医療セン ター	ヨナハ 丘の上 病院	青木記念 病院	もりえい 病院	いなへ 総合病院	日下病院	鈴鹿中央 総合病院	鈴鹿厚生 病院	村瀬病院	白子 ウィメンズ ホスピタル	塩川病院	亀山市立 医療セン ター
⑪腎尿路系	861 23.7%	490 13.5%	15 0.4%	13 0.4%	323 8.9%	49 1.3%	10 0.3%	12 0.3%		131 3.6%	520 14.3%	15 0.4%	15 0.4%	17 0.5%	248 6.8%		627 17.3%	187 5.1%	74 2.0%			27 0.7%
⑫女性生殖系	504 24.6%	619 30.3%				77 3.8%					433 21.2%	138 6.7%									275 13.4%	
⑬血液系	626 41.8%	16 1.1%			18 1.2%						38 2.5%				42 2.8%		539 36.0%	217 14.5%				
⑭新生児系	187 27.3%	186 27.2%				41 6.0%					131 19.1%	10 1.5%									130 19.0%	
⑮小児系	100 68.0%	32 21.8%									15 10.2%											
⑯外傷系	603 18.2%	611 18.4%		93 2.8%	60 1.8%	100 3.0%	12 0.4%		57 1.7%	28 0.8%	424 12.8%	19 0.6%	43 1.3%	55 1.7%	126 3.8%	34 1.0%	585 17.6%	407 12.3%	25 0.8%		27 0.8%	12 0.4%
⑰精神系																						
⑱その他	72 12.4%	54 9.3%			38 6.5%			16 2.8%			167 28.7%				71 12.2%		131 22.5%	32 5.5%				
合計	10,368 24.2%	6,245 14.5%	36 0.1%	131 0.3%	2,413 5.6%	715 1.7%	105 0.2%	359 0.8%	218 0.5%	1,115 2.6%	6,644 15.5%	723 1.7%	468 1.1%	181 0.4%	1,439 3.4%	170 0.4%	6,850 16.0%	3,484 8.1%	365 0.9%	405 0.9%	130 0.3%	359 0.8%

出典：厚生労働省 DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」 2023年度

II-4 三泗構想区域の状況

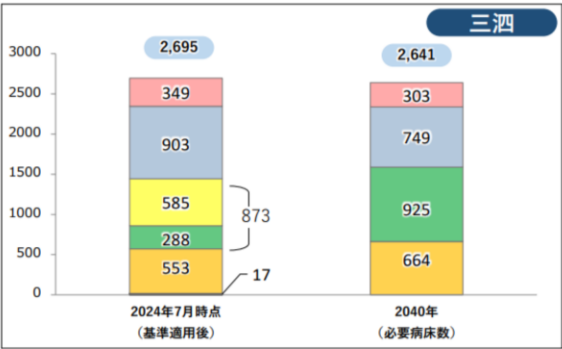
定量基準分析の適用結果(三泗構想区域)

基礎調査報告書p.18

三泗構想区域では、定量基準分析の適用結果と2040年の必要病床数を比較すると、高度急性期46床、急性期154床が過剰であり、地域急性期・回復期52床、慢性期111床が不足している。さらに、医療機関別に見ると、高度急性期と急性期のみを対象とするのは市立四日市病院のみである。

■ 定量基準分析の適用結果（三泗構想区域）

▼ 構想区域別の結果



▼ 医療機関別の結果

	高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	休棟中	合計
市立四日市病院	220	315					535
県立総合医療センター	125	240	44				409
四日市羽津医療センター	4	177	45				226
菰野厚生病院		104	42	41	43		230
みたき総合病院			81	44	74		199
富田浜病院		47	43	55			145
山中胃腸科病院			48		45		93
四日市消化器病センター		20			20		40
小山田記念温泉病院			109	95	173		377
主体会病院			45	53	130		228
石田胃腸科病院			38				38
水沢病院					38		38
四日市徳新会病院					30		30
有床診療所			90			17	107
合計	349	903	585	288	553	17	2,695

出典：令和6年度第2回三泗地域医療構想調整会議資料「【資料1】令和6年度病床機能の現状について」

(C) Copyright 2025 SHIP HEALTHCARE Research&Consulting,INC. All rights reserved.

Ⅲ 当院の現状

Ⅲ－1 当院の概要

当該医療機関は、北勢医療圏内で最も多い病床数を有し、定量基準分析適用下では、高度急性期から急性期機能を中心に医療を提供している。また、地域災害拠点病院、救命救急センター、総合周産期母子医療センターの指定を受け、地域の中核病院としての機能を担う。

■施設概要

施設名	設立主体	経営形態	現在地での竣工年	入院延べ患者数(人)	病床稼働率	平均在院日数(日)	新入院患者数(転棟含む)(人)	退院患者数(転棟含む)(人)
市立四日市病院	公立(市立)	地方公営企業法全部適用	1978年	159,583	73.6%	10.7	18,634	18,299

■主な指定・認定

- ・地域医療支援病院
- ・地域がん診療連携拠点病院
- ・地域災害拠点病院
- ・第二種感染症指定医療機関
- ・臨床研修指定病院
- ・救命救急センター
- ・総合周産期母子医療センター 等

■診療科(全28診療科)

内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、小児科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、泌尿器科、精神科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科

■入院料別病床数

入院料	許可病床数
急性期一般入院料 1	466
特定集中治療室管理料 1	10
ハイアユニット入院医療管理料 1	16
新生児特定集中治療室管理料 2	9
新生児治療回復室入院医療管理料	12
小児入院医療管理料 2	22
合計	535

出典
・【施設概要・入院料別病床数】厚生労働省 病床機能報告 2024年度(報告対象期間＝2023年4月～2024年3月)
※病床稼働率・平均在院日数は令和5年度地方公営企業年鑑を参照
・【診療科】医療介護情報局 医療機関届出情報

Ⅲ－２－① 収益性分析

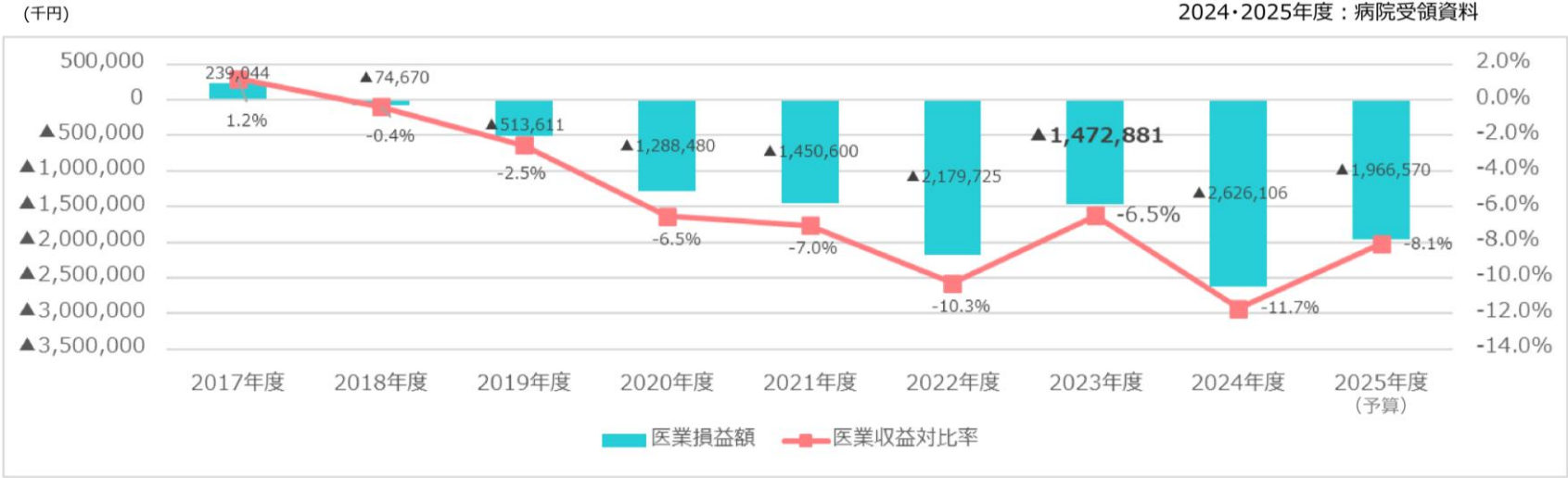
市立四日市病院の医業損益額・率の推移

基礎調査報告書p.127

市立四日市病院の医業損益は2018年度以降赤字となっており、赤字額は、2022年度は約▲21.8億円、2023年度は約▲14.7億円、2024年度は約▲26.3億円、2025年度予算は約▲19.7億円である。
2023年度の実績をBM病院の平均値と比較すると約3.6億円低く、医業収益比率も1.6%低く、望ましい実績ではない。

市立四日市病院の医業損益額・率の推移

出典
2017～2023年度：総務省 地方公営企業年鑑
2024・2025年度：病院受領資料



医業損益額・率のBM病院との分析

単位 (千円)

	当院 実績値	BM病院				BM病院実績値								
		平均値	中央値	最小値	最大値	石川県立 中央病院	鳥取県立 中央病院	横浜市立 市民病院	八戸市立 市民病院	君津中央 病院	岡崎市民 病院	一宮市立 市民病院	小牧市民 病院	公立陶生 病院
医業損益額	▲ 1,472,881	▲ 1,108,903	▲ 1,038,909	▲ 2,278,879	▲ 411,065	▲ 411,065	▲ 1,261,612	▲ 1,500,582	▲ 1,038,909	▲ 907,855	▲ 1,100,308	▲ 486,621	▲ 2,278,879	▲ 994,297
上記医業収益対比率	-6.5%	-4.9%	-4.7%	-10.3%	-1.8%	-1.8%	-6.9%	-5.2%	-4.8%	-4.4%	-4.7%	-2.2%	-10.3%	-4.0%

出典：総務省 地方公営企業年鑑 2023年度

Ⅲ－２－② 収益性分析

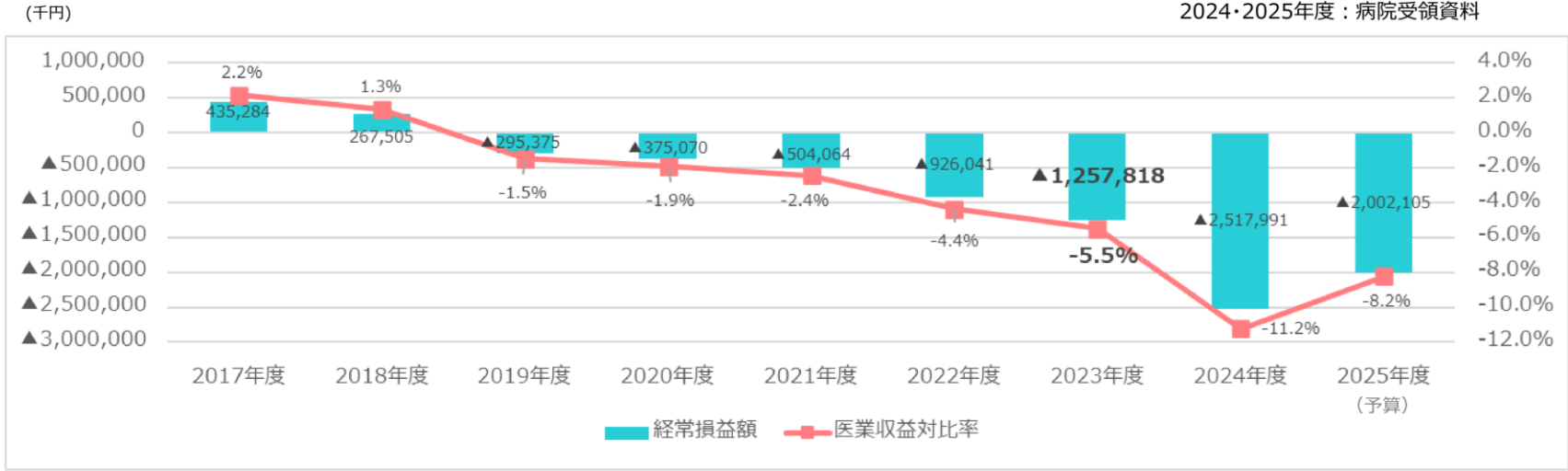
市立四日市病院の経常損益額・率の推移

基礎調査報告書p.129

市立四日市病院の経常損益は2019年度以降赤字となっており、赤字額は、2023年度は約▲12.6億円、2024年度は約▲25.2億円、2025年度予算は約▲20.0億円である。
2023年度の実績をBM病院の平均値と比較すると、約10.5億円の差があり、医業収益比率も4.7%低く、望ましい実績ではない。

市立四日市病院の経常損益額・率の推移

出典
2017～2023年度：総務省 地方公営企業年鑑
2024・2025年度：病院受領資料



経常損益額・率のBM病院との分析

単位 (千円)

	当院 実績値	BM病院				BM病院実績値								
		平均値	中央値	最小値	最大値	石川県立 中央病院	鳥取県立 中央病院	横浜市民 市民病院	八戸市民 市民病院	君津中央 病院	岡崎市民 病院	一宮市民 市民病院	小牧市民 病院	公立陶生 病院
経常損益額	▲ 1,257,818	▲ 206,855	38,966	▲ 1,226,262	602,863	83,543	38,966	▲ 629,410	80,229	180,411	602,863	▲ 326,864	▲ 1,226,262	▲ 665,172
上記医業収益対比率	-5.5%	-0.8%	0.2%	-5.5%	2.6%	0.4%	0.2%	-2.2%	0.4%	0.9%	2.6%	-1.5%	-5.5%	-2.7%

出典：総務省 地方公営企業年鑑 2023年度

Ⅲ－２－③ 収益性分析

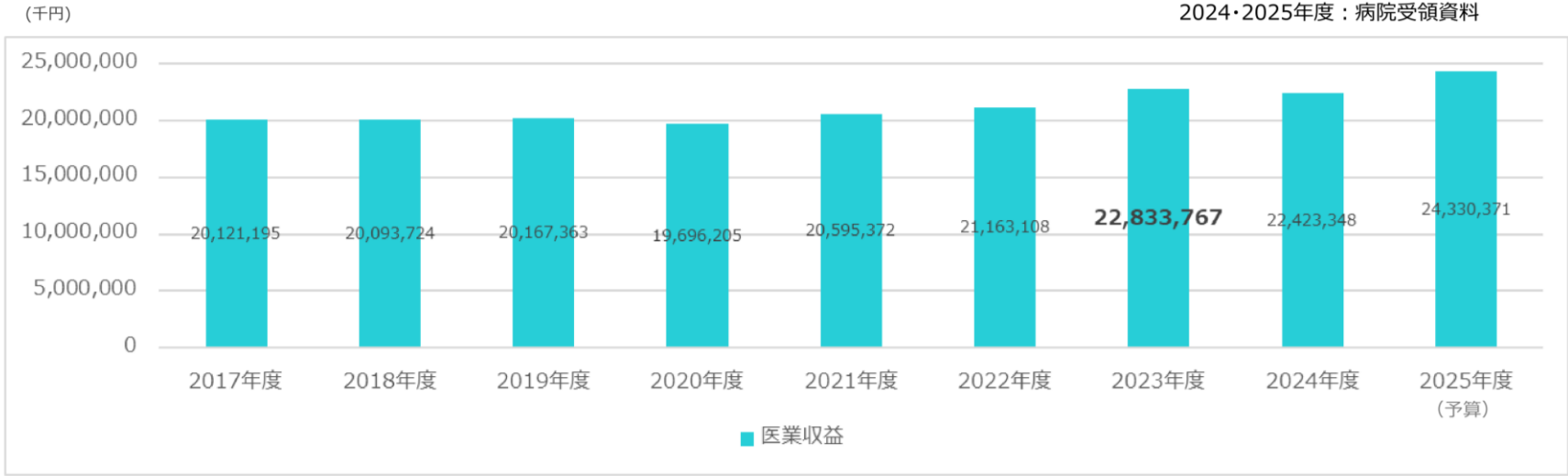
市立四日市病院の医業収益の推移

基礎調査報告書p.131

市立四日市病院の医業収益は増加傾向にあり、2023年度は約228億円、2024年度は約224億円、2025年度予算は約243億円である。
2023年度の実績はBM病院の平均値とほぼ同等である。

市立四日市病院の医業収益の推移

出典
2017～2023年度：総務省 地方公営企業年鑑
2024・2025年度：病院受領資料



医業収益のBM病院との比較分析

単位 (千円)

	当院 実績値	BM病院				BM病院実績値								
		平均値	中央値	最小値	最大値	石川県立 中央病院	鳥取県立 中央病院	横浜市立 市民病院	八戸市立 市民病院	君津中央 病院	岡崎市民 病院	一宮市立 市民病院	小牧市民 病院	公立陶生 病院
医業収益	22,833,767	22,885,755	22,464,590	18,267,776	28,950,741	23,241,102	18,267,776	28,950,741	21,731,397	20,767,402	23,498,925	22,464,590	22,100,272	24,949,588

出典：総務省 地方公営企業年鑑 2023年度

Ⅲ－３－① コストの適正性分析

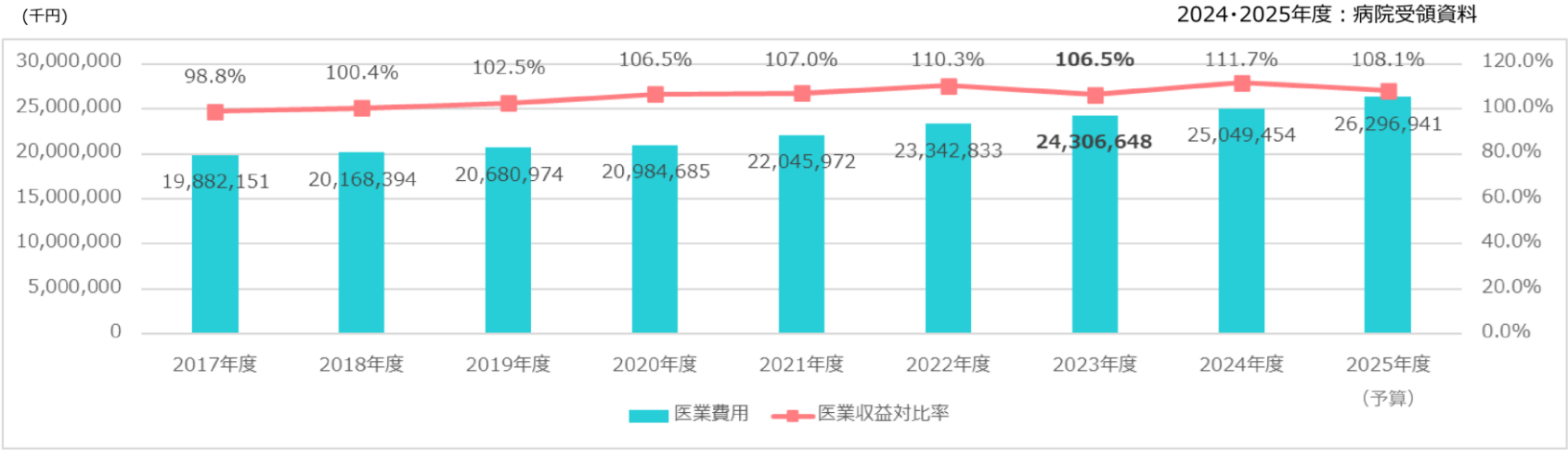
市立四日市病院の医業費用・率の推移

基礎調査報告書p.140

市立四日市病院の医業費用は増加傾向にあり、2023年度は約243億円、2024年度は約250億円、2025年度予算は約263億円である。
2023年度の実績をBM病院の平均値と比較すると、約3.1億円（医業収益対比1.6%）高く、望ましい実績ではない。

市立四日市病院の医業費用・率の推移

出典
2017～2023年度：総務省 地方公営企業年鑑
2024・2025年度：病院受領資料



医業費用・率のBM病院との比較分析

単位 (千円)

	当院 実績値	BM病院				BM病院実績値								
		平均値	中央値	最小値	最大値	石川県立 中央病院	鳥取県立 中央病院	横浜市民 市民病院	八戸市民 市民病院	君津中央 病院	岡崎市民 病院	一宮市民 市民病院	小牧市民 病院	公立陶生 病院
医業費用	24,306,648	23,994,658	23,652,167	19,529,388	30,451,323	23,652,167	19,529,388	30,451,323	22,770,306	21,675,257	24,599,233	22,951,211	24,379,151	25,943,885
上記医業収益対比率	106.5%	104.9%	104.7%	101.8%	110.3%	101.8%	106.9%	105.2%	104.8%	104.4%	104.7%	102.2%	110.3%	104.0%

出典：総務省 地方公営企業年鑑 2023年度

Ⅲ－３－② コストの適正性分析

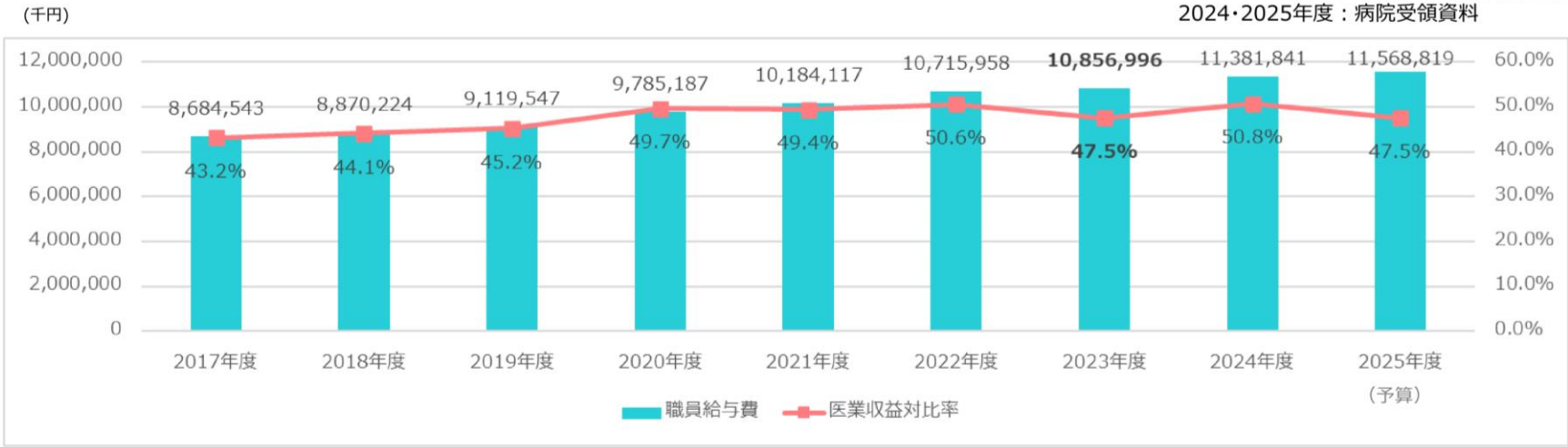
市立四日市病院の職員給与費・率の推移

基礎調査報告書p.141

市立四日市病院の職員給与費は増加傾向にあり、2023年度は約109億円、2024年度は約114億円、2025年度予算は約116億円である。2023年度の実績をBM病院の平均値と比較すると、ほぼ同等である。

市立四日市病院の職員給与費・率の推移

出典
2017～2023年度：総務省 地方公営企業年鑑
2024・2025年度：病院受領資料



職員給与費・率のBM病院との比較分析

単位 (千円)

	当院 実績値	BM病院				BM病院実績値								
		平均値	中央値	最小値	最大値	石川県立 中央病院	鳥取県立 中央病院	横浜市立 市民病院	八戸市立 市民病院	君津中央 病院	岡崎市民 病院	一宮市立 市民病院	小牧市民 病院	公立陶生 病院
職員給与費	10,856,996	11,009,634	10,602,296	8,936,015	13,050,539	10,027,493	8,936,015	13,050,539	10,580,567	11,367,208	12,275,804	10,602,296	10,361,489	11,885,291
上記医業収益対比率	47.5%	48.3%	47.6%	43.1%	54.7%	43.1%	48.9%	45.1%	48.7%	54.7%	52.2%	47.2%	46.9%	47.6%

出典：総務省 地方公営企業年鑑 2023年度

Ⅲ－３－③ コストの適正性分析

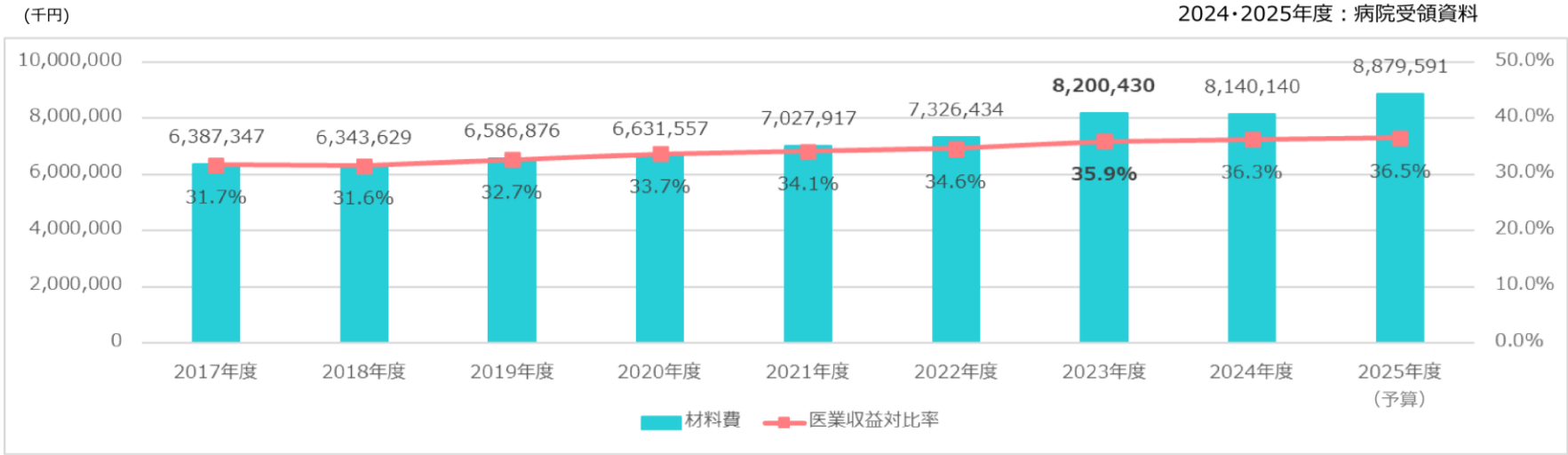
市立四日市病院の材料費・率の推移

基礎調査報告書p.147

市立四日市病院の材料費は、2018年度以降増加傾向（2024年度を除く）にあり、2023年度は約82億円、2024年度は約81億円、2025年度予算は約89億円である。
2023年度の実績をBM病院の平均値と比較すると、約8.3億円（医業収益対比3.7%）高く、望ましい実績ではない。

市立四日市病院の材料費・率の推移

出典
2017～2023年度：総務省 地方公営企業年鑑
2024・2025年度：病院受領資料



材料費・率のBM病院との分析

単位 (千円)

	当院 実績値	BM病院				BM病院実績値								
		平均値	中央値	最小値	最大値	石川県立 中央病院	鳥取県立 中央病院	横浜市民 病院	八戸市民 病院	君津中央 病院	岡崎市民 病院	一宮市民 病院	小牧市民 病院	公立陶生 病院
材料費	8,200,430	7,369,607	7,352,646	5,941,782	9,632,265	8,445,959	5,941,782	9,632,265	6,668,773	6,105,647	7,113,172	7,352,646	7,445,165	7,621,055
上記医業収益対比率	35.9%	32.2%	32.5%	29.4%	36.3%	36.3%	32.5%	33.3%	30.7%	29.4%	30.3%	32.7%	33.7%	30.5%

出典：総務省 地方公営企業年鑑 2023年度

Ⅲ－３－④ コストの適正性分析

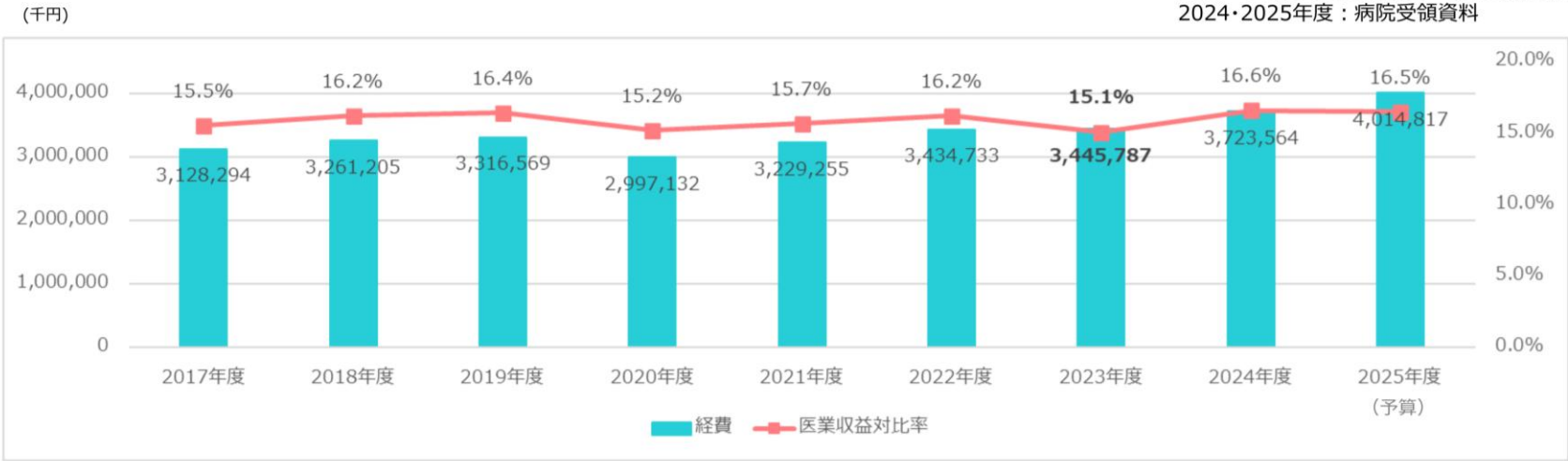
市立四日市病院の経費・率の推移

基礎調査報告書p.152

市立四日市病院の経費は増加傾向にあり、2023年度は約34億円、2024年度は約37億円、2025年度予算は約40億円である。
2023年度の実績をBM病院の平均値と比較すると、ほぼ同等である。

市立四日市病院の経費・率の推移

出典
2017～2023年度：総務省 地方公営企業年鑑
2024・2025年度：病院受領資料



経費・率のBM病院との分析

単位 (千円)

	当院 実績値	BM病院				BM病院実績値								
		平均値	中央値	最小値	最大値	石川県立 中央病院	鳥取県立 中央病院	横浜市立 市民病院	八戸市立 市民病院	君津中央 病院	岡崎市民 病院	一宮市立 市民病院	小牧市民 病院	公立陶生 病院
経費	3,445,787	3,585,959	3,455,213	2,442,980	5,240,176	2,743,685	2,442,980	5,240,176	3,965,483	2,998,281	3,455,213	3,104,936	3,851,834	4,471,042
上記医業収益対比率	15.1%	15.5%	14.7%	11.8%	18.2%	11.8%	13.4%	18.1%	18.2%	14.4%	14.7%	13.8%	17.4%	17.9%

出典：総務省 地方公営企業年鑑 2023年度

Ⅲ－４－① 入院患者分析

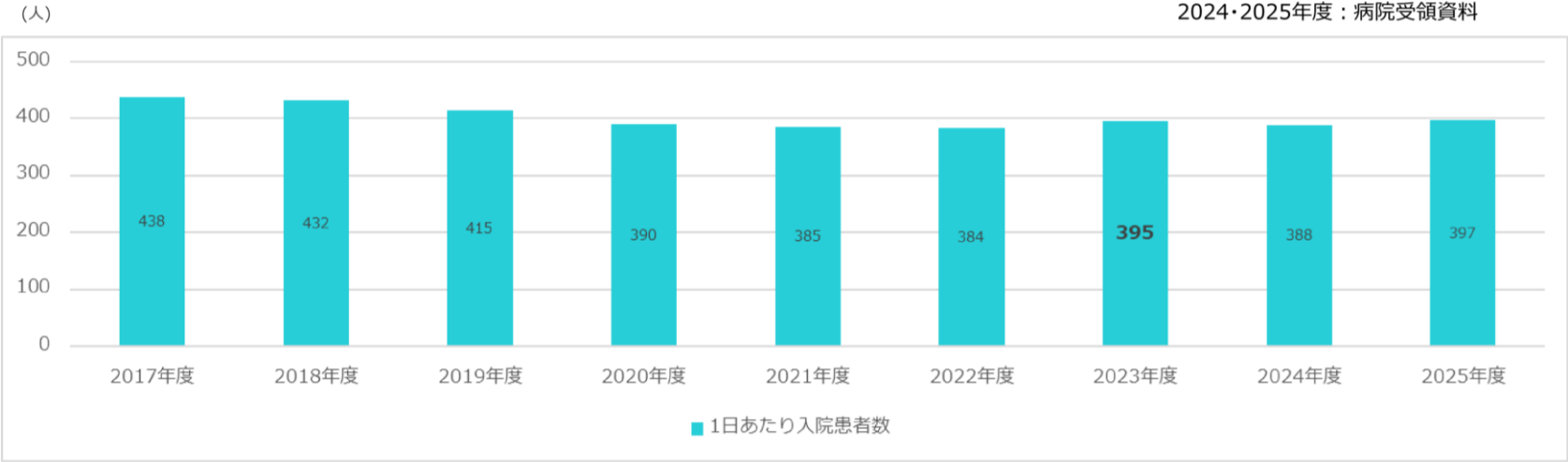
市立四日市病院の1日あたり入院患者数の推移

基礎調査報告書p.162

市立四日市病院の1日あたり入院患者数は2020年度以降、400人を下回っており、2023年度は395人、2024年度は388人、2025年度予算は397人である。
2023年度の実績をBM病院の平均値と比較すると、約80人下回っており、望ましい実績ではない。

市立四日市病院の1日あたり入院患者数の推移

出典
2017～2023年度：総務省 地方公営企業年鑑
2024・2025年度：病院受領資料



1日あたり入院患者数のBM病院との比較分析

単位 (人)

	当院 実績値	BM病院				BM病院実績値								
		平均値	中央値	最小値	最大値	石川県立 中央病院	鳥取県立 中央病院	横浜市立 市民病院	八戸市立 市民病院	君津中央 病院	岡崎市民 病院	一宮市立 市民病院	小牧市民 病院	公立陶生 病院
1日あたり入院患者数	395	479	493	380	591	380	398	591	517	493	531	458	418	521

出典：総務省 地方公営企業年鑑 2023年度

Ⅲ－４－② 入院患者分析

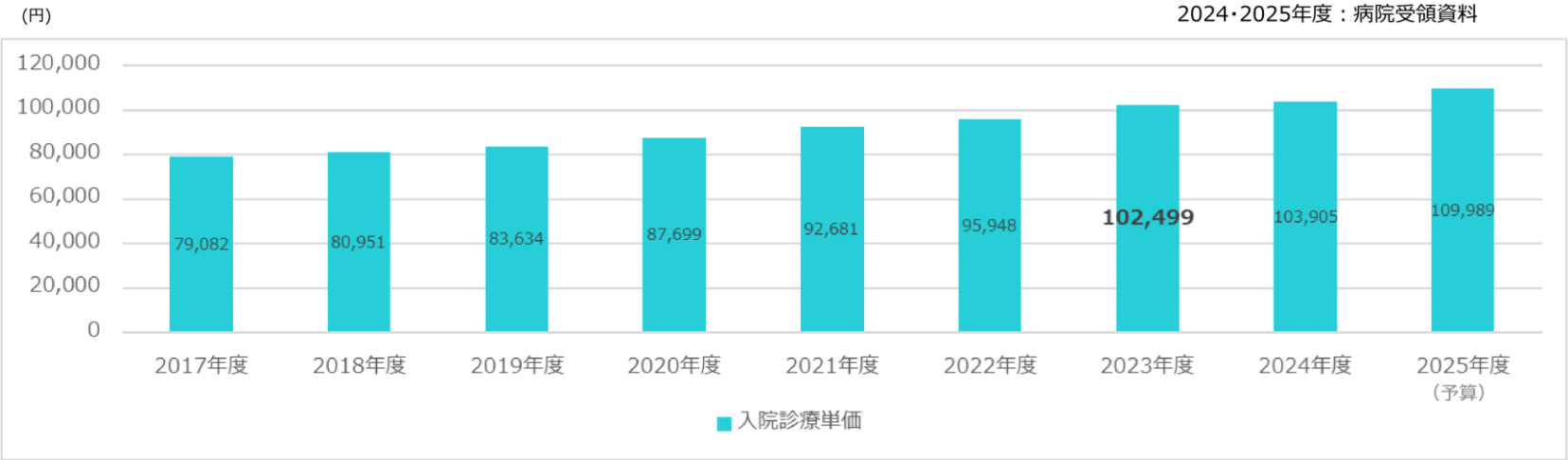
市立四日市病院の入院診療単価の推移

基礎調査報告書p.166

市立四日市病院の入院診療単価は増加傾向にあり、2023年度は約102,500円、2024年度は約103,900円、2025年度予算は約110,000円である。
2023年度の実績をBM病院の平均値と比較すると、約17,600円高く、良い実績である。

市立四日市病院の入院診療単価の推移

出典
2017～2023年度：総務省 地方公営企業年鑑
2024・2025年度：病院受領資料



入院収益診療単価のBM病院との比較分析

単位 (円)

	当院 実績値	BM病院				BM病院実績値								
		平均値	中央値	最小値	最大値	石川県立 中央病院	鳥取県立 中央病院	横浜市立 市民病院	八戸市立 市民病院	君津中央 病院	岡崎市民 病院	一宮市立 市民病院	小牧市民 病院	公立陶生 病院
入院診療単価	102,499	84,906	85,406	73,306	104,650	104,650	88,632	85,406	80,434	77,740	78,250	86,396	89,343	73,306

出典：総務省 地方公営企業年鑑 2023年度

Ⅲ－５－① 外来患者分析

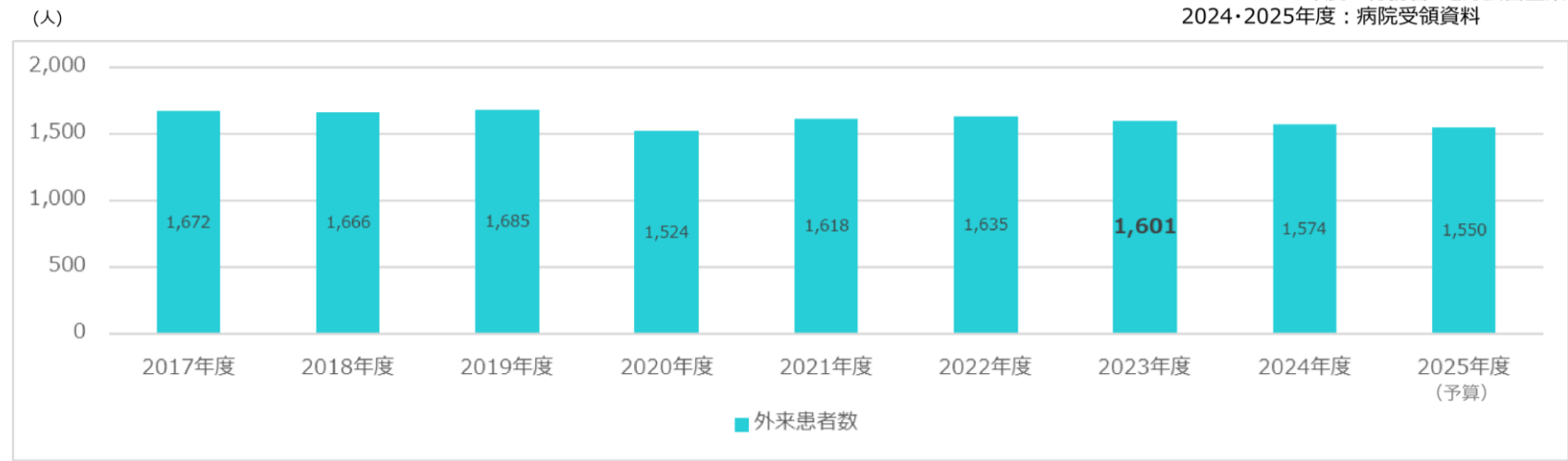
市立四日市病院の1日あたり外来患者数の推移

基礎調査報告書p.169

市立四日市病院の1日あたり外来患者数は1,500～1,700人程度で推移している。
2023年度の実績をBM病院の平均値と比較すると、約420人上回っている。

市立四日市病院の1日あたり外来患者数の推移

出典
2017～2023年度：総務省 地方公営企業年鑑
2024・2025年度：病院受領資料



1日あたり外来患者数のBM病院との比較分析

単位 (人)

	当院 実績値	BM病院				BM病院実績値								
		平均値	中央値	最小値	最大値	石川県立 中央病院	鳥取県立 中央病院	横浜市立 市民病院	八戸市立 市民病院	君津中央 病院	岡崎市民 病院	一宮市立 市民病院	小牧市民 病院	公立陶生 病院
1日あたり外来患者数	1,601	1,178	1,127	802	1,599	998	802	1,394	1,093	1,096	1,266	1,223	1,127	1,599

出典：総務省 地方公営企業年鑑 2023年度

Ⅲ－５－② 外来患者分析

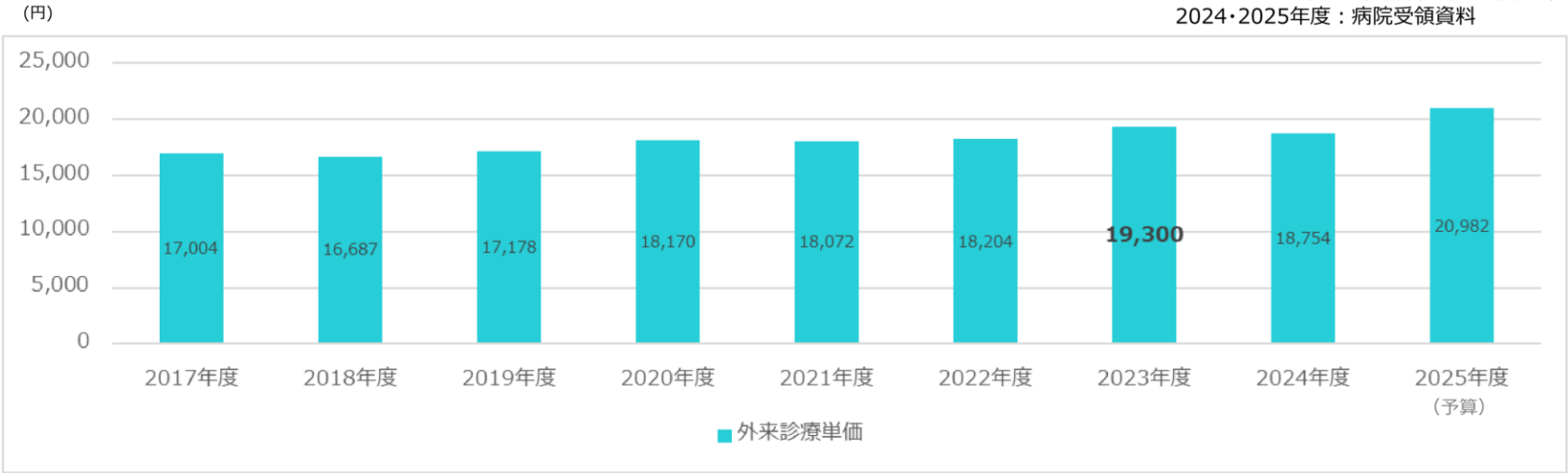
市立四日市病院の外来診療単価の推移

基礎調査報告書p.171

市立四日市病院の外来診療単価は増加傾向（2024年度を除く）にあり、2023年度は19,300円、2024年度は18,754円、2025年度予算は21,000円である。
2023年度の実績をBM病院の平均値と比較すると、約6,400円低く、望ましい実績ではない。

市立四日市病院の外来診療単価の推移

出典
2017～2023年度：総務省 地方公営企業年鑑
2024・2025年度：病院受領資料



外来診療単価のBM病院との比較分析

単位 (円)

	当院 実績値	BM病院				BM病院実績値								
		平均値	中央値	最小値	最大値	石川県立 中央病院	鳥取県立 中央病院	横浜市民 市民病院	八戸市民 市民病院	君津中央 病院	岡崎市民 病院	一宮市民 市民病院	小牧市民 病院	公立陶生 病院
外来診療単価	19,300	25,719	24,963	20,953	32,970	32,970	24,358	27,966	20,953	22,448	24,963	24,798	27,446	25,573

出典：総務省 地方公営企業年鑑 2023年度

Ⅲ－５－③ 外来患者分析

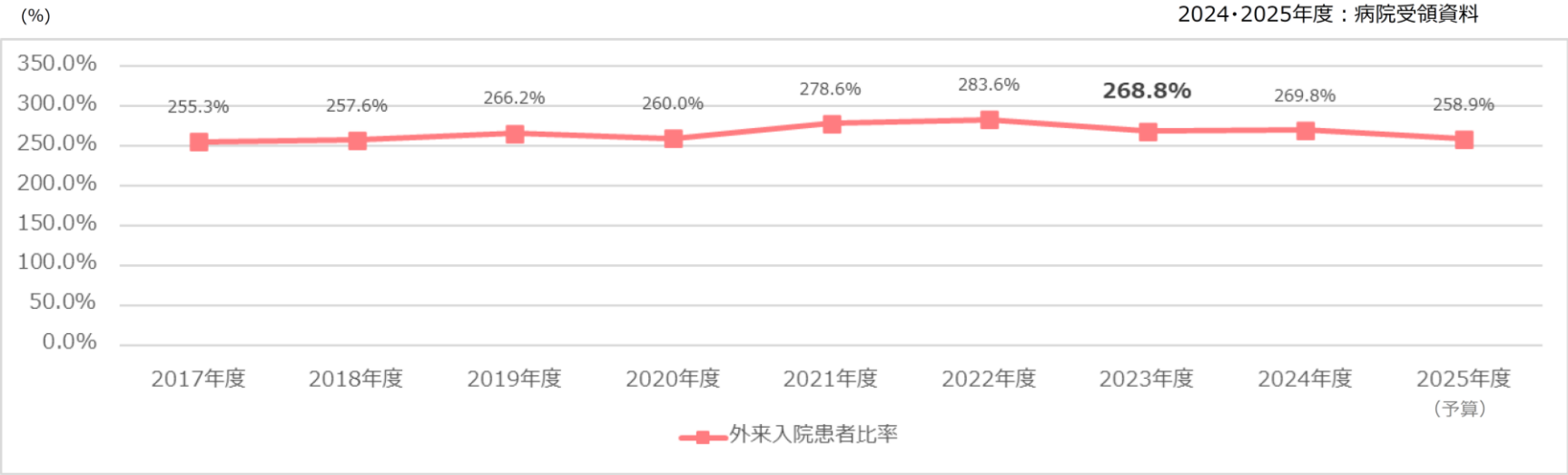
市立四日市病院の外来入院患者比率

基礎調査報告書p.171

市立四日市病院の外来入院患者比率は250～290%の間で推移している。
2023年度の実績をBM病院の平均値と比較すると、約105%上回っており、入院医療を中心に担うべきである急性期病院として、外来患者が多すぎることは望ましくない。

市立四日市病院の外来入院患者比率の推移

出典
2017～2023年度：総務省 地方公営企業年鑑
2024・2025年度：病院受領資料



外来入院患者比率のBM病院との比較分析

	当院 実績値	BM病院				BM病院実績値								
		平均値	中央値	最小値	最大値	石川県立 中央病院	鳥取県立 中央病院	横浜国立 市民病院	八戸市立 市民病院	君津中央 病院	岡崎市民 病院	一宮市立 市民病院	小牧市民 病院	公立陶生 病院
外来入院患者比率	268.8%	163.4%	158.4%	133.6%	203.8%	174.2%	133.6%	156.5%	140.4%	147.5%	158.4%	177.5%	179.1%	203.8%

出典：総務省 地方公営企業年鑑 2023年度

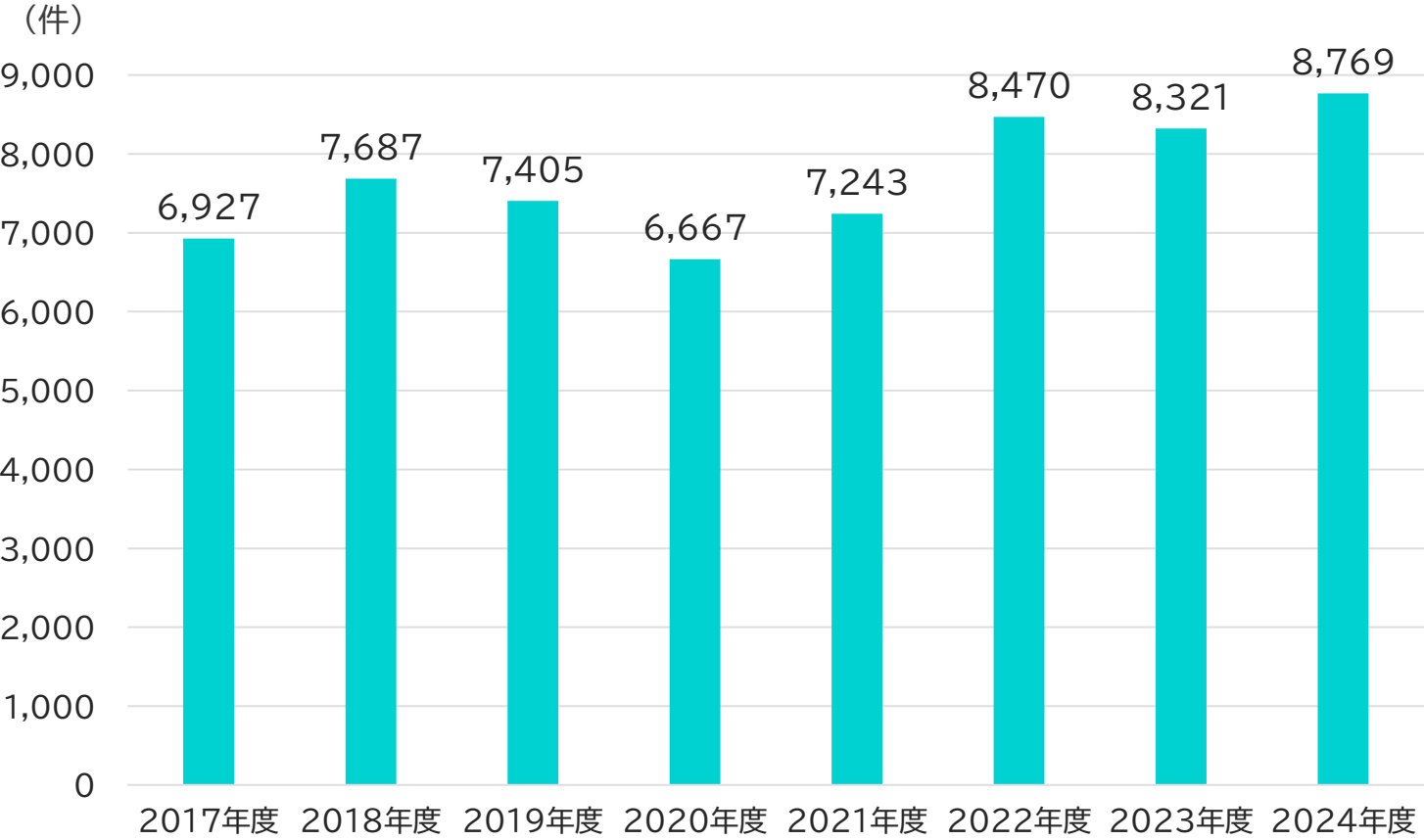
Ⅲ－6－① 救急患者分析

市立四日市病院の救急車受入件数の推移

基礎調査報告書p.175

市立四日市病院の救急車受入件数は、2018年度から2020年度にかけて減少しているが、2021年度以降は増加している。

■ 市立四日市病院の救急車受入件数の推移



出典:市立四日市病院病院雑誌

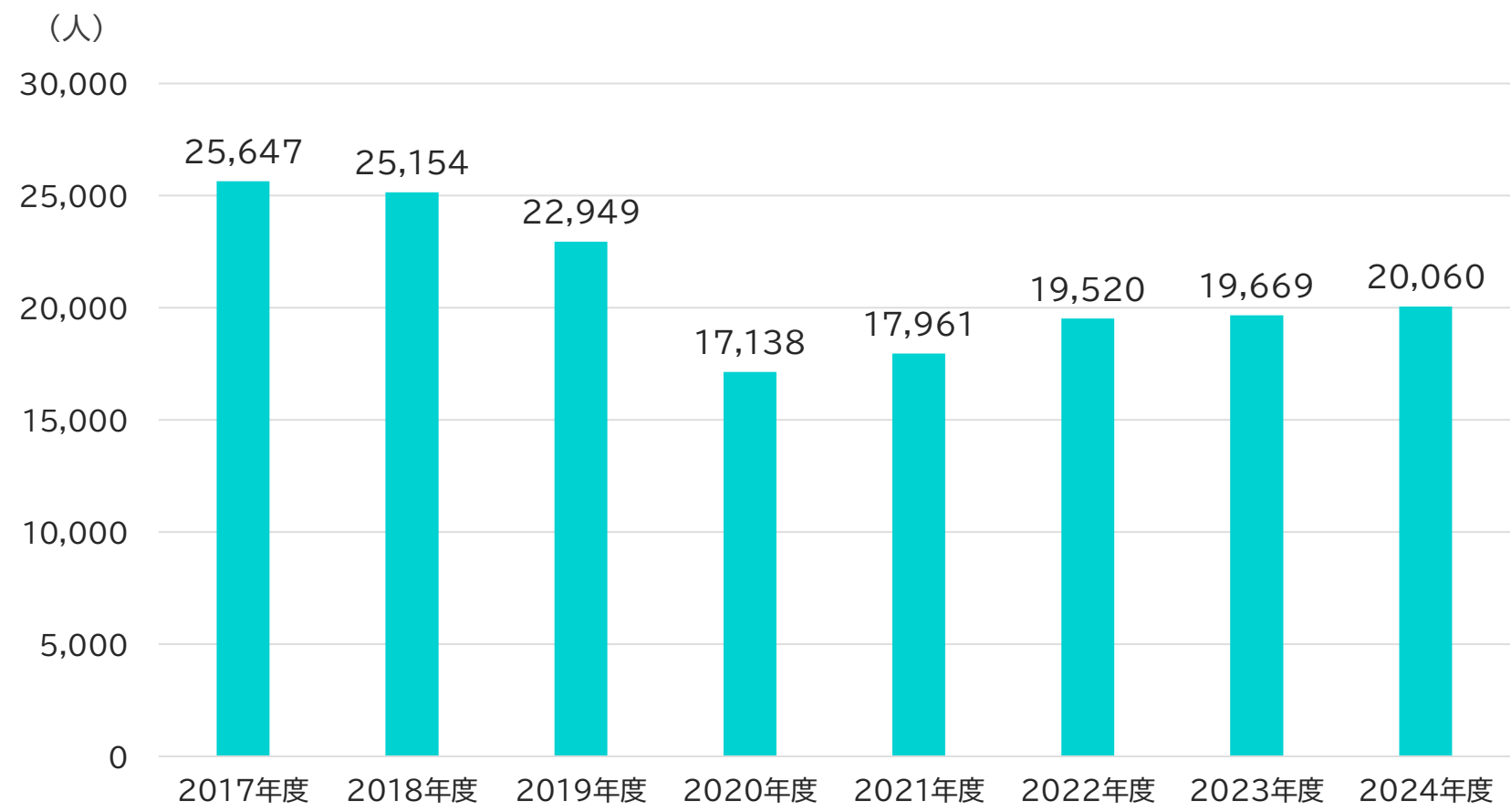
Ⅲ－6－② 救急患者分析

市立四日市病院の救急患者数の推移

基礎調査報告書p.177

市立四日市病院の救急患者数は、2019年度から2020年度にかけて減少しているが、2021年度以降は増加している。

■ 市立四日市病院の救急患者数の推移



出典：市立四日市病院雑誌

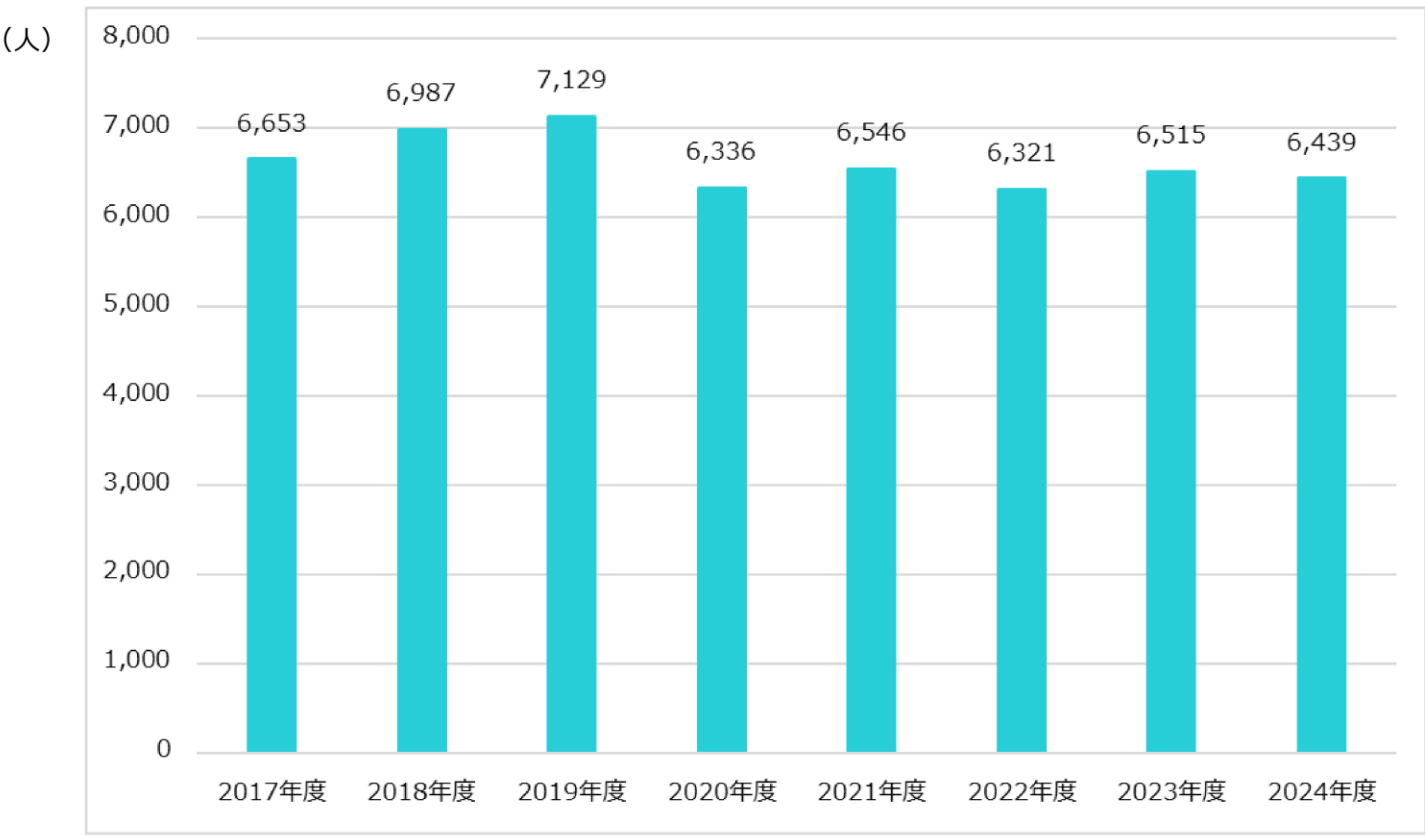
Ⅲ－７ 手術件数分析

手術件数の推移

基礎調査報告書p.180

市立四日市病院の手術件数は、2017年度から2019年度まで増加傾向にあり、2019年度は7,000件を上回ったが、2020年度以降は6,000件台に減少しており、その件数は年度により増減している。

■手術件数の推移



出典：病院受領資料

(C) Copyright 2025 SHIP HEALTHCARE Research&Consulting,INC. All rights reserved.

Ⅲ－８ 職員別職員数のベンチマーク病院分析

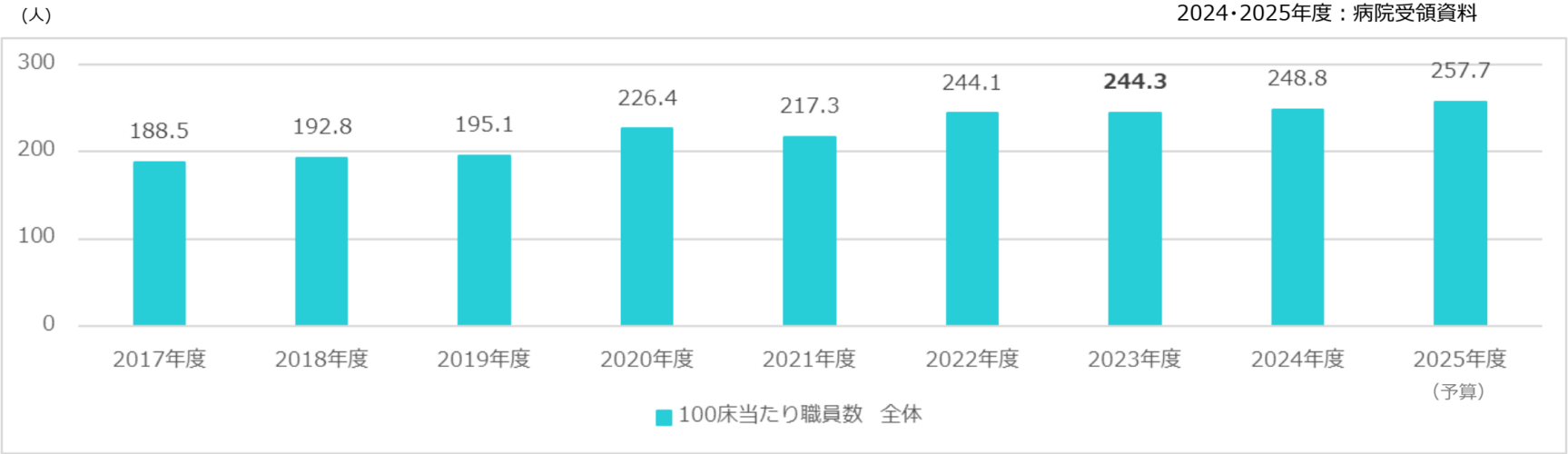
市立四日市病院の病床100床あたり職員数の推移

基礎調査報告書p.196

市立四日市病院の病床100床あたりの職員数は、2021年度から2022年度にかけて大幅に上昇し、その後、微増傾向にある。2023年度の実績をBM病院の平均値と比較すると、約15人多く、効率性を考えると望ましい結果ではない。

市立四日市病院の病床100床あたり職員数の推移

出典
2017～2023年度：総務省 地方公営企業年鑑
2024・2025年度：病院受領資料



病床100床あたり職員数のBM病院との比較分析

単位 (人)

	当院 実績値	BM病院				BM病院実績値								
		平均値	中央値	最小値	最大値	石川県立 中央病院	鳥取県立 中央病院	横浜市立 市民病院	八戸市立 市民病院	君津中央 病院	岡崎市民 病院	一宮市立 市民病院	小牧市民 病院	公立陶生 病院
100床あたり職員数	244.3	229.3	229.6	187.6	250.5	187.6	232.8	250.5	229.6	244.4	229.4	220.2	248.1	220.7

出典：総務省 地方公営企業年鑑 2023年度

【用語】 病床100床あたり職員数：地方公営企業年鑑における「病床100床当たり職員数」の全職員数（医師・看護部門・薬剤部門・給食部門・放射線検査部門・理衣装検査部門・その他の部門の総数）。

参考資料 ベンチマーク病院の設定

■ 収益及び費用に関する各種経営指標等の比較分析を行うために同規模同機能かつ経営状況の良いベンチマーク(以下「BM」という。)病院を設定する。

同規模条件

- ① 病床数が500～699床

同機能条件

- ② 公立病院である
- ③ 救命救急センターである
- ④ 災害拠点病院(基幹もしくは地域)である
- ⑤ 周産期母子医療センター(総合もしくは地域)である
- ⑥ がん診療連携拠点病院(都道府県もしくは地域)である
- ⑦ 地域医療支援病院である
- ⑧ 急性期一般入院料1を算定しており、地域包括ケア病床、回復期リハビリテーション病床、療養病床を保有していない
- ⑨ 原則院外処方である。

経営状況条件

- ⑩ 医業収支(減価償却費かつ他会計負担金除く)が黒字(令和5年度実績)
- ⑪ 地方公営企業法の全部適用もしくは一部適用である

※ BM病院の各種経営指標は、地方公営企業年鑑、病床機能報告、外来機能報告より抽出

参考資料 バンチマーク病院一覧表

No.	病院名	都道府県	市区町村	病床数
1	石川県立中央病院	石川県	金沢市	630
2	鳥取県立中央病院	鳥取県	鳥取市	518
3	横浜市立市民病院	神奈川県	横浜市神奈川区	650
4	八戸市立市民病院	青森県	八戸市	628
5	君津中央病院	千葉県	君津市	660
6	岡崎市民病院	愛知県	岡崎市	680
7	一宮市立市民病院	愛知県	一宮市	594
8	小牧市民病院	愛知県	小牧市	520
9	公立陶生病院	愛知県	瀬戸市	633
参考	市立四日市病院	三重県	四日市市	537

参考資料

ベンチマーク病院との各指標の比較表①

■入院診療単価の比較

	当院 実績値	BM病院				BM病院実績値								
		平均値	中央値	最小値	最大値	石川県立 中央病院	鳥取県立 中央病院	横浜市長 市民病院	八戸市長 市民病院	君津中央 病院	岡崎市民 病院	一宮市長 市民病院	小牧市民 病院	公立陶生 病院
入院診療単価	102,499	84,906	85,406	73,306	104,650	104,650	88,632	85,406	80,434	77,740	78,250	86,396	89,343	73,306

■1日あたり入院患者数の比較

	当院 実績値	BM病院				BM病院実績値								
		平均値	中央値	最小値	最大値	石川県立 中央病院	鳥取県立 中央病院	横浜市長 市民病院	八戸市長 市民病院	君津中央 病院	岡崎市民 病院	一宮市長 市民病院	小牧市民 病院	公立陶生 病院
1日あたり入院患者数	395	479	493	380	591	380	398	591	517	493	531	458	418	521

■病床利用率の比較

	当院 実績値	BM病院				BM病院実績値								
		平均値	中央値	最小値	最大値	石川県立 中央病院	鳥取県立 中央病院	横浜市長 市民病院	八戸市長 市民病院	君津中央 病院	岡崎市民 病院	一宮市長 市民病院	小牧市民 病院	公立陶生 病院
病床稼働率	73.6%	78.1%	78.0%	60.4%	90.9%	60.4%	76.9%	90.9%	82.3%	74.8%	78.0%	77.1%	80.4%	82.3%

■外来入院患者比率の比較

	当院 実績値	BM病院				BM病院実績値								
		平均値	中央値	最小値	最大値	石川県立 中央病院	鳥取県立 中央病院	横浜市長 市民病院	八戸市長 市民病院	君津中央 病院	岡崎市民 病院	一宮市長 市民病院	小牧市民 病院	公立陶生 病院
外来入院患者比率	268.8%	163.4%	158.4%	133.6%	203.8%	174.2%	133.6%	156.5%	140.4%	147.5%	158.4%	177.5%	179.1%	203.8%

参考資料

ベンチマーク病院との各指標の比較表 ②

■医業収益のベンチマーク(BM)病院との比較

	当院 実績値	BM病院				BM病院実績値								
		平均値	中央値	最小値	最大値	石川県立 中央病院	鳥取県立 中央病院	横浜市長 市民病院	八戸市長 市民病院	君津中央 病院	岡崎市民 病院	一宮市長 市民病院	小牧市長 市民病院	公立陶生 病院
医業収益	22,833,767	22,885,755	22,464,590	18,267,776	28,950,741	23,241,102	18,267,776	28,950,741	21,731,397	20,767,402	23,498,925	22,464,590	22,100,272	24,949,588

■病床100床あたり職員数のBM病院との比較分析

	当院 実績値	BM病院				BM病院実績値								
		平均値	中央値	最小値	最大値	石川県立 中央病院	鳥取県立 中央病院	横浜市長 市民病院	八戸市長 市民病院	君津中央 病院	岡崎市民 病院	一宮市長 市民病院	小牧市長 市民病院	公立陶生 病院
100床あたり職員数	244.3	229.3	229.6	187.6	250.5	187.6	232.8	250.5	229.6	244.4	229.4	220.2	248.1	220.7

■医師1人あたり診療収入のBM病院との比較分析

	当院 実績値	BM病院				BM病院実績値								
		平均値	中央値	最小値	最大値	石川県立 中央病院	鳥取県立 中央病院	横浜市長 市民病院	八戸市長 市民病院	君津中央 病院	岡崎市民 病院	一宮市長 市民病院	小牧市長 市民病院	公立陶生 病院
医師一人あたり 診療収入	331,021	311,188	309,273	224,350	375,277	326,212	343,989	278,677	375,277	295,204	224,350	309,273	306,123	341,588

■看護部門1人あたり診療収入のBM病院との比較分析

	当院 実績値	BM病院				BM病院実績値								
		平均値	中央値	最小値	最大値	石川県立 中央病院	鳥取県立 中央病院	横浜市長 市民病院	八戸市長 市民病院	君津中央 病院	岡崎市民 病院	一宮市長 市民病院	小牧市長 市民病院	公立陶生 病院
看護師一人あたり 診療収入	90,354	81,147	81,100	68,451	96,778	91,317	69,240	96,778	68,451	72,526	70,590	81,100	93,246	87,079

